へうげもの 1～10

著者名	山田芳裕	発行年	2010年
出版社名	講談社	ページ数	100ページ
値段	560円	ISBN	978-4063728699
コメント	数寄（すき）の窓から覗いてみると――ご存知戦国時代ストーリーなのに、全然ご存知じゃない世界になってて、いやびっくりたまげた、おそるべき構成力と描写力。 とりわけ序盤で消えてしまうけど、信長さんのトンデモなさにぞっこんです。ただし美人やめんこい娘は登場しません。だからって「びーえる」ではありませぬ。 コミックなので100ページ上限ルールで。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
鍋工房 ☆☆☆	物事に深く感動できるようになるために、知識や教養を身につけたくなるような本でした。戦国時代にもオタクはいたんですね。			
	1巻	100P (30分)		2010/08/18 06:40:26
マカロニぺんぎん ☆☆☆☆	テルマエ・ロマエを読んだ際にも感じたことですが、よくこのような題材で漫画を描く気になったなと思いました。信長や秀吉が出てくるのに、いつもアップで描かれるのは茶器。戦国時代の武将らの新たな側面を感じることもできる作品だと思います。この作品を読んで、本格的な茶の湯を体験したいと思ってしまいました。 ただ、カラーでないためかイマイチ美しさや、良さが伝わらない部分もあったことはマイナスに感じられました。			
	１、２巻	100P (40分)	第四席（１巻）	2010/08/17 23:20:04
かーたか ☆	うーんボクはこれ苦手です。横山光輝の方が好きです。			
	１巻	100P (30分)		2010/08/11 01:48:19
wax ☆☆	漫画ですので読みやすいです。 あまり絵が好きではないです。			
	4巻	100P (30分)		2010/08/11 01:35:57
	古田織部という全然有名じゃない人（私は全く知りませんでした）を主人公にしたマンガはとても新鮮でした．キャラも良いし続きが気になります．			

栃木のイベンター ☆☆☆				
	1巻	100P (20分)	第1話	2010/08/04 18:29:27

Solar ☆☆☆	手に届きそうな距離に見た芸術品に顔が歪んでしまう様は、 さしずめ某麻雀漫画のあの変人が見ている世界のようで。 世間から変人呼ばわりされる人って、みんな同じような顔をするのかなぁ。 また1から通しで読みたいです。			
	1～6巻	100P (80分)	芸術品を見たときの顔	2010/08/03 11:21:02

hk ☆☆☆	こういった漫画は読んだことがなかったが、案外すんなり入ることができた。 歴史の本としても知らないことが多かった。			
	4巻	100P (45分)	1-20	2010/07/27 15:31:12

サカサカ ☆☆☆☆	歴史物ってあんまり読んだことなかったけどどんどん引き込まれた. まだ2巻しか読んでないけど，ラスト2ページくらいに本当にびっくりした.			
	2巻all	100P (50分)		2010/07/26 12:57:40

おれ ☆☆☆☆	戦国時代にこんな人たちホントにいたの！？ 歴史はよく分からんが人物像の細かい描写で気づけば夢中になる漫画。意外と今の時代も必要かもね「数奇者」達。			
	1巻	100P (30分)	どこでも	2010/07/26 12:46:41

ポチ ☆☆☆☆	日本語による作品を科学している身としては、独特の擬音（「ドワァッ」とか「モリッ」とか）に気を散らされてなりませんでしたが、一応2巻は全部読み終えました。 絵が濃いのでちょっと注意が必要です。次から次へと登場人物が出てきて誰が誰だか見分けられなくなるのは戦国物の必定で、これは絵が薄い横山光輝の三国志と変わりないなーと思わせられました。			
	2巻全部	100P (60分)	擬音	2010/07/14 21:35:58

mnts ☆☆☆☆	歴史もので歴史の動きと主人公の動きがここまで連動しない話はなかなかないかもな～と思った。 1巻しか読んでないので、これから主人公が何をしてくれるものかという期待はある。			
	１巻	100P (40分)		2010/07/14 18:49:19

yuigawa ☆☆☆	好きな人にはたまらないノリなんだろうなぁと思いつつ、あまりの登場人物たちのあくの強さにたじたじとしてしまった（笑）とにかく主人公の倫理観に共感できず、妙に疲れた。いや、笑うことは笑ったのだけど。 秀吉の描かれ方は新しいというか面白いかも。			
	全部	100P (15分)	?	2010/07/13 11:24:32

どかべん太郎 ☆☆☆	冊数が欲しくて3巻だけ読みました。 いきなりの緊張のシーンに引き込まれました。 時間ができたら全巻読もう。			

	三巻 全部	100P (30分)	芋茎の味噌汁のくだり	2010/07/08 16:43:39

ditherman ☆	“「愛」よ”で倒れる描写がすげえ			
	1-3巻	100P (180分)	なし	2010/07/08 00:04:36

RKJK ☆☆☆	変な擬音に目が行き勝ちだけど結構話もしっかりしてた。趣味人としての生き方と武士としての生き方の折り合いに悩む姿には共感を覚える			
	1,2巻	100P (60分)		2010/07/07 16:00:29

ｃnd ☆☆☆☆	歴史漫画はあまり読まないのですが、これはなかなか面白かった！ へうげるってふざけているとかいう意味なんですね。 主人公はなかなか図々しい人みたいです			
	1巻	100P (20分)		2010/07/03 22:57:03

ドナルド ☆☆☆☆☆	今まで読んだ歴史ものとはかなり違う雰囲気．登場人物の心情が良く分かり，歴史上の人物を身近に感じることができる．			
	2巻	100P (40分)		2010/07/03 16:16:58

江戸川 ☆☆☆☆	歴史をいろんな側から見ると違った物が見えてくる。 戦や技術に注目してみることが多いけれども数奇に注目してみたこの漫画。 1巻だけでも武か数寄か、という生き様が感じられました。 続きは時間ができたときに読もうと思います。			
	1巻	100P (30分)		2010/06/29 17:48:40

chicken-run ☆☆☆☆☆	シブすぎ数寄に男泣き！な本 漫画は何冊何百ページ読んでも100ページ分しか加算されませんが、この本だけは是非1～10巻まで通して読んでほしい。ドラマチックな物語構成や個性豊かなキャラクター達に魅了されること間違いなしです。 ただ、歴史物としては相当いい加減なのでそこだけ注意して下さい。			
	全部	100P (200分)	９巻 第90席～92席	2010/06/28 17:11:52

ukayare ☆☆☆☆	顔芸が素晴らしい。というか８割この本は顔芸でできている。 あとは左介の裸エプロン。萌え萌えです。 内容は、１巻だけだとなんとも…つまらなくはないですが絵に負けてますね。今後期待して星４です。左介ェ・・・			
	１巻	100P (15分)	気に入った顔があればそこ	2010/06/24 20:50:40

DAIKINエアコン ☆☆	面白かった．主人公をはじめとする名器がらみの話は途中で飽きてきてしまったが，人物描写がとてもよかったと思う．濃い． ただ，小説との最大の違いである「絵」の存在は，どうしてもイメージを狭める効果があって，実話（あるいはそれに準じた）シナリオを漫画にした作品には高い評価は上げづらい			
	1巻	100P (20分)	最初から飽きるところまで読めばよい	2010/06/22 22:57:43

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	主人公をはじめ、戦国時代の人達の感性がとにかく豊かに描かれていて、陶器などの名物が戦を変えていく様子が面白い。 今までの歴史観が変わってしまった。 そして、モーニングで読み始めました。 主人公がテルマエロマエみたいに現代に来たら、どんな反応をするのやら…			
	1-10巻	100P (300分)	1-4巻	2010/06/19 01:00:52

Coppet ☆☆☆☆	信長の最期は圧巻。 前に歴史学か何かでちらっと見たような？ 個人的にはズダッズダッという足音が印象に残りました。			
	1-10巻	100P (90分)	第二十一席	2010/06/17 23:18:20

まー ☆☆☆	８巻しか見当たらなかったので、８巻を読みました。 話は小難しいものでなくスラスラ読めます 個人的にアクの強い絵が気に入りました			
	八巻全部	100P (20分)	絵全般	2010/06/16 15:40:37

atom ☆☆☆	ただの歴史小説と思いきや当時の芸術をこよなく愛する変人の話だったので斬新な漫画だと思った。			
	1巻	100P (60分)		2010/06/15 10:24:02

Asagi ☆☆☆☆☆	武道よりも宗教よりも、数寄者として生きようとする人々。その必死の表情！ 歴史漫画の固定観念を打ち破る、絵の大胆さと擬音の激しさは必見です。 独自解釈のオンパレードですが、それだけに誰もが生き生きと描かれています。			
	1巻～10巻	100P (90分)		2010/06/11 12:31:00

WHISKYMAN ☆☆☆	古田がモノに心を奪われた時の素直な反応が面白い。あのリアクションの大きさは某古代ローマ風呂漫画の主人公のそれに近いものがあるような気も。真面目と滑稽のバランスがよし！			
	1巻全部	100P (50分)		2010/06/08 11:02:30

ひまじん ☆☆☆☆	戦国時代についての普通の漫画だと思って読んでみたが，戦国時代の美文化に注目して描かれており新鮮である．画風はあまり好きではないが，主人公が芸術品を表現するときの擬音が面白い．			
	1巻	100P (30分)	第六席	2010/06/01 19:00:17

an ☆☆☆☆	こんな武士いたのかな（笑） モノ欲しさに、敵将を逃がしてしまうなんて。。。 でも、ちょっとわかる気もする。 面白いので、スイスイ読んでいけます。			
	1巻	100P (45分)	1巻	2010/06/01 17:03:55

	骨董品に関して独自の見解で解説されていて面白い．一気に読んでしまった．			

hulk ☆☆☆☆☆	千利休の野望にはぞっとしました.			
	一巻	100P (60分)	第八席	2010/06/01 13:14:10

たざわ ☆☆	茶の湯が男たちのものであった時代、この時代における茶の湯というものがよくわかって面白いです。			
	１巻	100P (45分)		2010/06/01 01:34:29

komu ☆☆☆	とにかく絵が個性的でした。通常の漫画よりも輪郭がはっきりしており、登場人物の表情も非常に豊かです。 正直なところ自分の好みの絵ではないですが。			
	第8巻	100P (40分)		2010/05/25 11:29:52

牛タン手工業 ☆☆☆☆	武士のときもあれば、名物のために武士を忘れることもある、そんな古田殿が主人公の話。 戦国時代の人間も戦のことばかり考えていたんじゃないと感じることができます。 信長さまを筆頭に、登場人物がみんなぶっ飛んでるのが面白いです。			
	1巻	100P (30分)		2010/05/24 16:06:45

マシュ ☆☆	初めから読みたかったけどなかなか1巻が回ってこなそうだったので、10巻から読んでしまいました。よく内容が分からなかったです。。 そのうち1巻が見つかったら最初から読もうと思います。			
	10巻	100P (30分)		2010/05/21 18:05:43

7boys ☆☆☆☆	名物が歴史上の権力者の間を流通する様は非常に興味深く、美しい品々は次は誰に保管され、受け継がれてゆくのだろうか？・・・とわくわくしながら読んだ。 人に注目してもいいし、物に注目してもいい。 私はなんとなく、物に注目してしまう。 「モリッと冴えない茶碗」などという残念な評価をいただかない「名物」になりたいと切に思う。			
	1～10巻	100P (60分)		2010/05/21 17:37:58

rs ☆☆☆☆	数寄の視点から見える世界がこんなに面白いとは思わなかった。			
	全部	100P (300分)		2010/05/18 19:25:11

k.k.t ☆☆☆	一巻から読んでないのでわからないことは山積みなのですが、最後のシーンは驚き！			
	二巻	100P (30分)		2010/05/18 17:02:56

sky ☆☆☆☆☆	こんなにも「名物」に主軸を置いた歴史物を今まで読んだことがない。 数寄者と自負する人たちの必死な様子がどうしようもない笑いとなってしまう。おそらくこれがシリアスな笑いというものの一例ではないかと思う。 絵は上手いというよりも独特で、特に表情が秀逸。古田殿の素直なリアクションは一見の価値あり。			
	１，２巻	100P (50分)	１巻	2010/05/17 18:06:12

	骨董品が話の中心として出てくる変わった漫画です。織田信長や豊臣秀吉など有名な人物が出てき			

maaa ☆☆☆☆	ますが、それ以上にくせのある主人公から目が離せません。			
	1巻	100P (40分)	1-42	2010/05/10 12:42:41

ふり太郎 ☆☆☆☆☆	数奇者の主人公にとって「数奇」であるか「武」であるか、そこの葛藤に悩む様が面白くもあり、独特の捉え方であると思いました。骨董品を巡る主人公の策略の大胆さが注目です。序盤では、信長の奇抜な服装も注目です。			
	1，2，3巻	100P (90分)	1巻	2010/05/09 16:50:11

スズキ ☆☆☆☆	「へうげもの」って何だろう，とおもって読んだこの漫画. ただの歴史ものかと思いきや，ひたすら骨董品に振り回される主人公の生き様が描かれている. 面白いです.			
	1,2,3巻	100P (60分)	1巻	2010/05/05 15:38:19

忍者 ☆☆☆☆	この漫画はただの戦闘漫画ではなく、数奇者たちの趣味人としての人生、武人としての人生の両方を描いている。 特に印象に残ったのは主人公が優れた骨董品を見たときの、どぺえっ、すくっ、ペロンという擬音を使った感想。 彼の言葉にならない感情をとてもリアルに表現していて、作者のこだわりを強く感じる漫画でした。			
	１～10巻	100P (60分)	1ページから	2010/04/30 17:03:56

Mr.Crazy ☆☆☆☆☆	漫画本です．歴史好きな人でもそうでない人でも楽しめると思います．時代は戦国時代で織田信長の時代です．今まで聞いたこともなかっった信長の使い番である古田左介がフューチャーされています．ちょっと今から気になるんで古田左介をwikiで調べてみよう． オススメです．			
	1-222	100P (60分)		2010/04/21 18:18:08

ＴＯＰへ

天地明察

著者名	冲方 丁	発行年	2009年
出版社名	角川書店	ページ数	475ページ
値段	1,890円	ISBN	978-4048740135
コメント	しっかり調べて、じっくり人物像を立ち上げた重量級歴史小説。 渋川春海さん、暦をつくった人。 江戸時代人と算法勝負をしたいかたは、21ページと143ページと236ページへ直行！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
unknowoman ☆☆☆☆☆	締め切りが迫っているから、一冊あたりのページを減らして冊数をかせがなきゃいけない自分がにくい、、、。 きっと面白いと期待をこめて星５つ。			
	1-119	119P (40分)	まだわからない	2010/08/13 11:33:01
akilu ☆☆☆☆☆	2010年夏。ひとつの叶わぬ恋をした。 いろんな分野に長けていて、だけど自分はまだまだだと思っていて。 ブラックな中核に近いのに、そんなことにはとんと疎くて。 手癖のようにそろばんを出して「さようであるなら」なんてニコニコお金出して。 この人のためなら、無銭で専属茶坊主を一生勤めたっていい。 そう思った。 けれどあの人は結婚してしまった。 とても綺麗な奥さんを娶った。 とても仲睦まじい夫婦と周囲にも言われて、 幸せそうに、夫婦そろって同じ日に生涯を終えたそうだ。 最初から敵わなかったんだ。私のような小娘じゃ……。 涙ってこんなにしょっぱかったっけ。 これドラマ化しないかな			
	all	475P (300分)	問題のところかな？	2010/07/19 18:00:02
	暦をつくる話。難しいジャンルだと思う。 なのにこの面白さには脱帽。			

atom ☆☆☆☆☆	物事を成す（ここでは改暦）ためには様々なものがいると思う。算術の才能や天測の記録、お金や人材、人脈などがそれにあたると思った。春海はそれらすべてにおいて天才と言える人ではなかったけれども、その中の数多くの第一人者から上記のものを受け継ぎ、碁打ちとしての「先を見通す」布石により、大逆転で事業を成し遂げたのは見ていて爽快だった。			
	全部	475P (400分)		2010/07/11 08:44:00

鍋工房 ☆☆☆☆☆	印象的な涙が二つある。 一つは、p114〜118。22歳。春海が、己の道を進むことを志す場面。 もう一つは、p441〜444。44歳。なすべきことを成し遂げた場面。 一つ目の場面では心を揺さぶられ、もう一つの場面では、自分もこのような境地に達したいと思った。 非常にアツイ物語。良いものを読ませていただきました。			
	all	475P (400分)		2010/07/02 18:09:43

WHISKYMAN ☆☆☆☆☆	理系ならばこの小説に強く共鳴することができるに違いないっと思うのは自分だけではないはず。最初に出てくる図形問題を見た瞬間、「解きたい」とワクワクする自分がいた。真理を追い求めてひたすら邁進し、真剣勝負をし、自分の過ちに気がついた時には涙を流して絶望し、それでも立ち上がってまた挑む。各々自分らしさを貫き春海の支えとなる仲間たちもまた素晴らしい。アツい。			
	全部	474P (420分)		2010/06/27 22:03:00

ふり太郎 ☆☆☆☆☆	最初の、絵馬で問題を提示している辺りからかなり数学寄りの小説なのかと思いながら読んでいたのですが、全然そんなこともなく、壮大な計画を実行に移すまでの大がかりな実測業務、改暦実行への緻密な戦略、そういったスケールのでかい話へと盛り上がっていく様が読んでいて爽快だった。			
	all	475P (360分)		2010/06/25 15:42:57

B4たかし ☆☆☆☆☆	ラノベ出身の小説家が，歴史小説を書くとこんなふうになるらしい．序盤での主人公・渋川春海とヒロイン（だよね？）・えんとの出会いなんて，なんかベタ過ぎないかと． だがそれが良い． 江戸時代を舞台にしている歴史モノのはずなのに，まったく色あせた雰囲気が感じられない．登場する人物が主人公をはじめどれも生き生きしている為だろう． しかも文章の中で起きる事柄は（確認できる範囲では）全てノンフィクション！よくもまあこんなに面白く書けるなあ，まさに明察． あ，自分は出てくる問題は解いてないっす．			
	全部(1-474)	474P (400分)		2010/06/22 12:12:42

ありす ☆☆☆☆☆	遥か天上の、決して届きそうもないその光に向けて手を伸ばし続ける男たちの物語。囲碁・天文・数学・暦、みんな自分の中の北極星を見つけている姿がカッコイイ。 「何かを始めるのに遅いということはない」。わたしも、まずは自分だけの北極星を探すところから始めてみようかな。			
	ぜんぶ	475P (150分)		2010/06/21 22:50:21

sky	死に逝く人を背負いきる器の大きさ、そこに渋川春海の魅力がある。 死んだ人の言葉は「おもい」。二度と撤回されることはないし、答えを伝えることもできない。ただ生きる人の脳裏で延々反芻され、重さを増していく。しかしそこにあるのは、期待と願いを織り交ぜたその人の思い。 それらを全て承知の上で背負い切り、二本の足で地に立つ姿こそ、歴史を繋いでいく人として憧れる姿だった。誰かの思いを背負いきる覚悟、誰かに重みを背負わせる覚悟、そんなことが出来る人

☆☆☆☆

になりたい。経験上、逃げるのは簡単だから。

内容は間違いなく☆五つ。何度か鳥肌が立ちました。
しかし一つだけ。招差術の問題って解ける…のですか？ちゃんと解けるなら☆五つに修正します。
どう考えてもこの条件では順番に大きくならないように思うんですが…。

all	475P (400分)	四章	2010/06/14 20:08:42

k.k.t
☆☆☆☆☆

序盤の数ページでは歴史小説らしさなのか、なかなかスッと話に入っていけなかったが、その後はどんどんページをめくっていった自分がいた。
登場人物がみんなとても輝いているなとひたすら思った。

1-324	324P (300分)	問題をやってみるのもよし	2010/06/10 15:42:26

RKJK
☆☆☆☆☆

面白かった！ 本当にそれしか言うことがないくらいに面白かった！

が、それだけじゃ何も伝わらないだろうからちゃんと感想書きます。
ストーリーは暦を作るお話。本当にそれだけ。数学の話や旅の話、囲碁の話などいろいろ出てきますが、終盤それらがすべて暦を作る物語に組み込まれて行くさまは本当に感動的とさえ言える素晴らしい出来でした。
「精進せよ、精進せよ」とか「頼みましたよ」とか「天地明察」とかの台詞が一々心をふるわせるのです！

ただ、このときの春海には知る由もなかった、的な意味の文章が何度も何度も出てくるのが少しウザったかった感はある。
また、恋愛話は私個人としてはないほうがよかった。
(えんやことはキャラとしては好きだけどね)

一番好きなキャラは道策。
勝負が出来ずに泣いちゃうところとか、新しいうち筋を見つけて眼をきらきらさせちゃうとことかマジでかわいい。
好敵手を星に奪われ、勝利してなお勝負に飢えた孤独な天才が敗北により最高の打ち筋を生み出した。胸が熱くなるなぁ。

ちなみに読んだ時間は300分としましたが、問題を解いた時間を含めるともっと時間かかってます。
一問目に20～30分、二問目に2～3分、三問目は2時間(笑)
大学受験したときならもっと早かったはずだと思うとちょっと勉強しなおさなくちゃと思わなくもないです。

1-475	475P (300分)		2010/06/03 18:13:29

7boys
☆☆☆☆☆

「永代島にある”深川の八幡様”こと富岡八幡宮」(p.170)の近くに住んでいる7boysです。こんにちは。あまりに面白いので徹夜しそうになってしまいました。

生まれたときからすでに存在し、もはや存在しないなんてことを想像もしたことがない「暦」に壮大な物語があったことを知り、とてもためになりました。特に、この小説は、歴史的事実および背景を個性豊かな登場人物で鮮やかに描き出したところがすばらしいと思います。

春海と一緒に問題を解き、成功に笑い、失敗に泣き、人を見送る。

何百年も前の話なのに、自分のことのようにとらえることができました。
とにかくおすすめですっ！

問題は解けるらしいですよ。ググるといろいろ出てきますのでご参考までに。

all	475P (300分)		2010/05/31 13:14:17

渋川春海の人生を綴った物語の軸もさることながら、

江戸川 ☆☆☆☆☆	彼の生涯に関わった人物、数学、囲碁、天文学の描写が素晴らしく愉しめる。 読み終えたときにはそのどれか、あるいはすべてに対する知識欲が高まっているはず。 自分は江戸の偉大な数学者、関孝和への関心が高まりました。 関連書物をなにか一冊読んでみようかしら。			
	全部	475P (360分)		2010/05/25 15:59:30

Unknown ☆☆☆☆☆	ここ何年かで、一番のヒット。 歴史小説は読みづらいことが多いので、敬遠しがちだったのだが、この本は非常に読みやすい。さすがはラノベ作家出身といったところか。 春海の生き方こそ理想であり、保科正之の哲学こそ政治である。 なお、帯に書かれているあらすじは問題外。こんな軽い言葉でこの本を表現してほしくない。 ※ちゃんと問題を解くことができて一安心（笑）			
	全部	475P (240分)		2010/05/21 20:40:33

スズキ ☆☆☆☆☆	ヒストリアンズでの評価が高かったので歴史アレルギーはあったけれど読んでみました．読んでよかったと思います． 暦の変革のために常識に勝負を仕掛けた渋川春海の物語．数学，天文学，常識を疑うバイタリティーのいずれか一つにでも興味をもった人は読んでみるべきです．難しいことに挑戦した著者のバイタリティにも感心しました．			
	全て	475P (220分)	全て	2010/05/18 23:55:04

mnts ☆☆☆☆☆	浪漫に溢れた一作。 読んでいるうちに数学への熱意がわき出てきます。 特に話の終盤の主人公の立ち振る舞いは目を見張るばかりなので、つまみ食いよりも是非がっつり読んで欲しい本。 登場人物がみんな個性的で魅力的なのも良かったです。 立ち読みポイントはおじいちゃんたちが可愛かったので。			
	all	474P (300分)	三章	2010/05/11 15:06:35

くらげ ☆☆☆☆☆	今年の本屋大賞だよってことで勧めてもらってスタートした一冊目。 本屋大賞って、読みやすい本が多くて好きです。 この本もサクサク読めちゃう。 気付くと止まらなくなってました。 何より登場人物が魅力的！ ここ、私にとって重要ポイント！ 主人公も含めて、出てくる人がいちいちカッコいいんです。 個性的な人ばかりなので、ぜひ立ち読みと言わずに順番に読んでほしいところです。 しかし、どうしても一か所選べというなら、お気に入りの「えん」さんが初登場するシーンを押します。 この人が可愛いんだ、もう。 今回は途中で読むのを中断したけど、彼らの行方が気になります。 余裕があったら最後まで読みたいです。 ところで、この本を１行で表現すると 江戸＋算数＋萌え			

	だと思うんだけど、どうだろう。			
	1-190	190P (120分)	全部！もしくは23-26ページ？	2010/04/23 02:54:31

弟子 ☆☆☆☆☆	丁ちゃんが書くとどんなジャンルでもＳＦに読めるから困る。 マルドゥックシリーズでもそうだが、冲方丁らしい、常軌を逸したとしか思えないほど緻密な設定調査および考証は称賛に値する。特に今回は時代物ということで意識して読んではいないのだが、おそらく史実も含め完璧に仕上げているのであろう（だれかそこんとこ調査してくれる人がいないかな）。物語中に出てきた北極星から計算した緯度（度分秒）でさえ、ほとんど現実のものと合わせているのではないかと思えてくる他、さまざまな（特に数字や蝕のガジェットを用いた）現象がすべて実際に起こっているのではないかと思わせるあたり、さすがである。もしくは、だからこそこの作品がＳＦチックに読めてしまったのかもしれない。 何度か表れる数学の問題はまさに理系ホイホイ。春海が出した（あの）問題に紙と鉛筆を用意して何時間も考えてから本をめくると、本の中の出来事と自分の苦労とがシンクロし、思いもよらず感動してしまったのはいい思い出である。ただ全体の展開がどうしても序盤～中盤あたりに偏りがちになってしまい、最後のほうが尻切れてしまっている感が否めなかった。それもまた史実らしいと言えばそうなので、本当にここまで計算ずくで書いているんじゃないかと疑ってしまう始末である。 最大の欠点は帯。「2010、最初に読むべき時代小説」とか書かれると、天邪鬼な自分はどうしても読みたくなくなってしまうのだよ。ほんと、丁ちゃんじゃなければ読み始めなかったかもしれない。			
	all	475P (180分)	みんなも143ページの問題を解いてみよう！！	2010/04/20 12:53:55

ＴＯＰへ

プリンセス・トヨトミ

著者名	万城目 学	発行年	2009年
出版社名	文藝春秋	ページ数	494ページ
値段	1,649円	ISBN	978-4163278803
コメント	どかんと大阪が炸裂する。 やるなあ！ お話だもの、ここまではじけてくれなくっちゃ。ひょうたん、ってのがまた人を喰ってて痛快だね。 あまりのスピード感に、500ページを一気読みしてしまいました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
鍋工房 ☆☆☆☆	何かが途切れることなく続いていくというのは、それだけで奇跡のようなものなのだな、と実感。 ひょうたん売ってるのなんて見たことないけど、大阪じゃ普通の事なのか？			
	all	494P (350分)	最初から読みましょう	2010/08/18 03:52:23
1412 ☆☆☆☆	登場人物の名前は戦国時代の人物からとっているみたいで、その由来を考えながら読んだ。			
	1-494	494P (240分)		2010/08/10 21:39:24
akilu ☆☆☆☆	あぁ、疲れた…そういう話だったのか。 勝手に歴史小説だと思い込んでいた自分反省。 概ね納得して終えられたので満足。ただし読んでいる最中はしんどくて仕方ない。映画とかも苦手なんだよね…ドキドキしっぱなしでさ。2回目は読まないだろうな。 立ち読みポイントだけは3回読み直してニヤニヤしたw この人ホント好きだわ 誰かが誰かを信じていて、何かを信じることを受け継ぐ。そして大切な人を大切だと思う。それだけで「守る」ってことが成り立つのだから、きっとあの人もこの人も、あんなものやこんなものも何かに守られているんだろうな。			
	all	494P (300分)	コノ、イッカノ恥サラシッ	2010/07/27 17:59:59
みぃたん ☆☆☆☆	登場人物たちに愛着がわく。 全く関心のない歴史に興味が湧きました。 関西に行きたくなります。 時間がなかったので、そのうち最後まで読みたいです。			
	1-347	347P (400分)		2010/07/21 11:02:54

富士駿河 ☆☆☆	え、もしかしてこれからという所で自分は力尽きてしまったのだろうか。 調査官と中学生、大阪城の本当の姿など、度重なる謎（疑問？）に入り込んでいったのは良かったが、途中で理解が追いつかなくなってしまった。 ここからワッと炸裂しそうな出来事があり、全ての真相が分かりそうだと予想していた。石垣を超えて、これから本陣を攻めるぞ、といった感じだろうか。 しかし、500ページを一気読み、というのはまだまだ自分には難しかったようだ。			
	11-303ページ	293P (155分)	145-155ページ	2010/07/13 04:29:06

くらげ ☆☆☆☆	ハードボイルドって言ったら、煙草や拳銃を片手に渋くてかっこいい男が大活躍。女はそんな男に黙ってついていく。そんなイメージだろうか。 この本は煙草も拳銃も出てこないし、暴力を振るわれても耐えるだけだったり、大衆を前にすると緊張してしまったりする男ばかり。でも情けなさなんて感じない。寡黙で誠実。ただそれだけ。そんなところが渋くてかっこいい。まさに日本版ハードボイルド（※） この本はそんな男と女の在り方がウリであるように感じるのだけど、そういう意味でどちらにも属する大輔がいい味出してる。 少々設定に無理があるものの、ファンタジーなんだし目をつぶった方が勝ちじゃないかな。 それより鹿男あをによしの最後に「あっ」と言わせて、伏線と思っていなかった伏線を回収する見事さ。今回もそういうのを期待していただけに、それがなかったのが残念だったかなぁ。 あ。鹿男で出てきたキャラがチラッと出た。リンク好きの私としては、鴨川ホルモーも気になっちゃうじゃないか。 (※)個人的には「日本版ハードボイルド」でしっくりするのだけど、「ハードボイルド」をウィキると意味が違うのかなぁ…という気もする。			
	all	494P (300分)	488-491	2010/06/29 17:21:57

WHISKYMAN ☆☆☆☆☆	紹介文見て、「秘密って何？守るってどういうこと？」と気になってわくわくしながら本を手に取ってみた。意外と普通の話なのかなーと思いつつ読み進めていくと、途中でぶっ飛んだ設定が。「なんだこれは！」と。しかし更に読み進めて行くと徐々に物語に引き込まれていき、ページをめくる手が止まらなくなり、終盤で雪崩の如く真実が明らかになっていき全てが一本につながる。「そういうことか！」 素晴らしかった。意外性抜群。 そして副長、魅力的すぎ。ただ個人的に、最後の最後まで「らしさ」を徹底して欲しかったかな。			
	全部	504P (300分)		2010/06/13 00:36:23

Apollo ☆☆☆☆	突拍子もない設定もちゃんと作中でまとまっていて面白かったです。 ただ設定に入っていけるかは人によるかもしれません。			
	all	494P (360分)		2010/06/09 15:40:38

sky ☆☆☆	小説として設定、ストーリーは面白かった！が、何故か手放しに称賛できないこの気持ち。おそらく登場人物に感情移入できるかできないかが分かれ目だと思った。 自分はどうにも(小説の)大阪側の人たちの考え方、行動が理解できない。いくら「あの」ような伝えられ方だからと言って、あそこまで盲信的になれるものなのか。全員が全員そう思うのか。どうにも納得できない。かなりの規模の集団の感情を一色単にまとめていることに激しい抵抗感を持ってしまったため、読みながら苦笑いを間々したのだと思う。そんな単純じゃ無いと思おうんだが、小説のご都合主義と割り切ることが必要なのかな。もっと閉じられたコミュニティなら納得できたけど、それだとこんな規模の、特に後半のやり取りに壮大感がなくなってしまうからなぁ… ストーリー展開は面白く、二章の最後の台詞には呆気にとられました。まさかの超展開。え!?そんな話なの!?と完全に意表をつかれました。大人のファンタジーってのは上手く表現したなぁ、とコメントを見て感心しきり。			
	全部	494P (350分)		2010/05/31 21:09:40

あるみ ☆	…ダメでした、ごめんなさい。私、この小説、好きじゃない。 「人は自分と違うことを、なかなか理解せえへん」 初めの方に出てくるセリフに、強く共感したのですが。 信念と信念のぶつかり合いの末に、相手のことを理解しようとしなかったのは一体どっち？			
	all	504P (150分)		2010/05/25 12:20:29

Coppet ☆☆☆☆☆	作中でも表現されているが、まるでドミノ倒しのようだという印象を受けた。 一口にドミノ倒しといっても、意図したように倒れたドミノと、意図していないように倒れたドミノとがある。 意図していていないように倒れたドミノが相互に作用し、新たな模様を作り上げることもある。 この二つが組み合わさっているからこそ、この話の吸引力はすさまじいと感じた。 「ドミノという遊び道具がある。五月三十日に、○○○で人知れず進行した出来事は、言ってみればドミノの動きに似ているかもしれない。」（本文からの引用、〇〇〇はネタバレで都合により伏せました）			
	全部	494P (240分)	351-378ページ、483-495ページ	2010/05/14 14:20:49

弟子 ☆☆☆☆☆	何も言わずにかっこつけたい男心。なにも問わずにかっこつけさせてあげたい女心。 きっとみんなは知らないふりをしているだけで、群衆の中に助けを求めれば救いの戦隊ヒーローが5人そろってやってくると信じていたこと。ベルトのアイテムをかしゃんかしゃんっていじれば正義の味方に変身できるヒーローを信じていたこと。合体ロボが宇宙からの使者をやっつけるシナリオに心酔していたこと。王子様がお姫様を悪の魔女の手から守り通す物語にあこがれていたこと。 ＲＰＧの主人公がラスボスを倒して世界の平和を守ることに全く疑いを持たなかったこと。 それらを当たり前だと思って少年時代を過ごしてきたこと。 「じゃあ次は、君の番だ。君がヒーローだ。君が守るんだ」と言われたら、男の子ならどうするか。 決まっているじゃないか。			
	all	494P (180分)	たとえば、前田弦次郎（四十四歳）は、《以下	2010/05/07 03:12:04

unknowoman ☆☆☆☆	この作品の何もかもが、粋です。			
	すべて	504P (200分)	473-504	2010/05/02 18:17:17

栃木のイベンター ☆☆☆☆	ありえない設定なんですが，それでもおもしろかったです． 私は一気に読めましたが，少し話が長すぎる気もします．			
	全部	494P (360分)	181-237,379-451	2010/04/23 18:25:19

ありす ☆☆☆☆	男は秘密を大切にして、女は秘密を大切にする男を大切にする。 これはオトナのためのファンタジー、ハリー・ポッターのように魔法が出てきたりドラゴンと戦うわけじゃない。 でも、誰もが自分の大切なもののために戦っている。難しいことなんかなにひとつない、自分の信じるものを守ろうとしているだけなのだから。 アタマを使わずさらっと読める、疲れた心をほぐすつもりで読むのにオススメの本。			
	ぜんぶ	494P (160分)		2010/04/22 20:39:27

ＴＯＰへ

有頂天家族

著者名	森見登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎	ページ数	353ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4344013841
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼッタイ狸を選びたくなる。狸になって偽叡電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむるところだ」って呵々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
富士駿河 ☆☆☆☆	試験期間中のためか、狸の兄弟が自由気ままに楽しく生きているようで羨ましく感じられた。やっぱり人間っぽい。鍋にされてもいいから狸になりたい…とか思ってしまった。 1章では何か大人の雰囲気がしたが、2章では兄弟同士の子供っぽさがあったり。勉強の息抜きには良いと思います。			
	5-86ページ	82P (55分)	12-19,71-78ページ	2010/08/02 16:27:06
ukayare ☆☆☆☆	アー本当はもっと読みたいだけどとりあえず感想だけ 人間よりも人間っぽいものなんですね、狸ってのは。こういう俗物感やはねっ返り感がなお人間っぽい。 そういえば二次元少女が可愛く見えるのは描く人の理想を基に描かれているからかわいいのは当然だということをどっかで見たことある。 そして四畳半神話体系っぽいと思ったらやっぱり作者は同じか。これ＋平成狸合戦ぽんぽこ÷2ってとこか？			
	1章のみ	50P (30分)		2010/07/20 13:09:53
つばくろう ☆☆☆☆☆	まず人間、狸、天狗の話ってところにびっくり。内容も面白かった。特に最終章は圧巻です。 この本を読んでうちの近く(八王子）にも狸は出没するし、八王子の高尾山には天狗伝説もある！自分も狸と天狗と共存してるのではないかなんて思ってしまった。			
	6-357	351P (400分)	最終章	2010/07/06 01:29:42
	あなたの隣の方も実は狸かも・・・			

Unknown ☆☆☆☆	人間社会だけでなく、狸社会も大変なんだなぁ ところで、なんで狸って人に化けるんだろう?			
	全部	353P (100分)		2010/06/22 01:33:14

Asagi ☆☆☆☆☆	森見さんは本当に京都が好きだ。 天狗と狸と京都の街と、森見さんの軽妙な文体が相まって、なんとも不思議な空気感のある作品です。 端々に出てくる京都の地名が絶妙なアクセントに。 誰にも真似できない森見ワールドをどうぞ。 『四畳半神話体系』もフジテレビで放映中です。			
	ぜんぶ	353P (120分)		2010/06/11 12:16:24

1412 ☆☆☆☆☆	文体が特徴的で楽しんで読めた。仲が悪いようで互いを思いやっている兄弟の関係に憧れる。			
	1-353	353P (240分)		2010/06/02 15:00:46

ありす ☆☆☆☆	狸と天狗と人間と、京の都では今宵も三種の生き物が闊歩する。 ああ哀れ、父は狸鍋の具に。おいしく食されちゃいました。残された母と息子4匹、下鴨一家に降りかかる運命とは？ いいんじゃないのこんな生き方。いいんじゃないのこんな家族。 なんだかちょっと懐かしくてほっこり胸があったまって、家族っていいなあなんて思っちゃう。一家団欒、狸鍋をつついちゃったりなんかして。 狸一家が織りなすハートフル・コメディ。			
	ぜんぶ	353P (110分)	後半1/3	2010/05/31 10:10:51

くらげ ☆☆☆☆☆	狸かわいいよ狸。 天狗が空を飛んで狸が人に化けて生活していたら、きっとこんな日常。 気難しい狸もいれば、気ままな狸もいる。反りが合う狸もいれば、合わない狸もいる。なんだ人間と一緒じゃないか。 そんなある狸家族の話。 生きていればけっこう。どう生きるかなんて難しく考えずに、とりあえず面白く生きれば良いのだ。 ゆる～く生きてる矢三郎に癒されること間違いなし。 ところで、みんなが推すから７章に飛んで読もうとしたけど、そのちょっと前から読まないと状況が分からなかった。同じことをする人は255ページくらいから読むのが良いかと。登場人物で分からない人がいましたが、まあなんとか分かります。 ↓「無理があるよなぁ」と思いつつ続けてる、一行でまとめてみたシリーズ 狸＋家族愛＋平和なドタバタ話			
	1～126、255～357	229P (120分)	７章	2010/05/13 19:12:32

あるみ ☆☆☆☆	この国に住んでいるのは人間だけじゃないんだよ。 天狗、狸、人間。違う者同士が、お互いを見ながら生きている。 どうしても気が合わない人っているよね。もしかしたらソレ、天狗かも。 面白いけど何考えてるかわかんないヤツっていない？ソイツ、狸かもしれないよ。 人間じゃないんだから、分かんないのも当たり前。でも、それぞれそれなりに一生懸命生きてるからさ。 ま、ほどほど仲良く、楽しくやろうよ、ね。			

	all	357P (120分)	初めから	2010/05/11 12:54:02

江戸川 ☆☆☆☆	やはり最終章が一番オモチロイ。 その他の章は最終章をより愉しむための前菜です。 読まずとも最終章のみ味わうこともできるでしょう。 我らの中にも流れる「阿呆の血」を発揮して生きる狸と天狗と人間と。 嗚呼、願わくば幾多のしがらみを捨て彼らのように阿呆に生きたい。			
	5-357ページ	353P (300分)	最終章(287-357ページ)	2010/04/30 11:23:14

7boys ☆☆☆	森見さんらしいなぁと思いながら読みました。 でもやっぱり私は人間でいい。			
	最初〜171ページ	171P (120分)		2010/04/20 12:56:44

asce ☆☆☆	どこに“有頂天”があったんだ？？ でも、“有頂天な家族”ではなく、“有頂天にさせる家族”だとしたら納得できるかも、ただ自分の読みが浅いのかもしれない！！ 最後に一言、チートアイテム風塵雷神の扇ほしいな〜			
	5-357	353P (360分)	088-127(第3章)、288-357(第7章)	2010/04/20 12:03:55

みぃたん ☆☆☆	だんだん話が面白くなってきた。最後の1/3に面白さの70%があったと思う。 難しい漢字があるから、少し勉強になったかな？ 本能で分かりやすく生きる、狸や天狗たちの、人間じゃないけどなんだか人間臭いような世界でした。			
	1-353ページ	353P (500分)	最後の方。	2010/04/16 01:03:21

TOPへ

１Ｑ８４ BOOK1・２・３

著者名	村上春樹	発行年	2009年
出版社名	新潮社	ページ数	1,630ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4103534228
コメント	青豆さんステキ☆ 第１章の首都高の非常階段をハイヒールで降りるところまでで「キター」という感覚に襲われなかったら、そのあとの1000ページにエネルギーを費やしてもムダでしょう。 ブンガクってこちらが向こうに合わせるんじゃなくって、向こうがこちらに合わせてくれるもんだと思うから。それは、２つの月が浮かぶこの世界の隠しテーマでもあります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
たざわ ☆☆☆☆☆	自分にとって『ノルウェイの森』以来の村上春樹となりました。 やっぱりものすごく面白いし、好きな作家だと改めて思いました。 出版されたときにすぐ購入したのですが、夏休みまで読むのを引っ張ってしまい後悔しました。 もっと早く読んでいればよかった。 ３巻も購入済みなので、これから楽しみたいと思います。			
	1,2巻	1055P (240分)		2010/08/19 01:32:00
kyk ☆☆☆☆	村上春樹の最高傑作は何かという議論がよくされるが。 これは集大成につながる作品なのではないかと思う。			
	全部	1630P (720分)	全部	2010/08/18 16:47:41
wax ☆☆☆☆	村上春樹が書く小説といえば、 とらえどころのない「僕」が主人公になることが多いと思いますが、 海辺のカフカあたりからなんとなく性格が変わってきたように思います。 まだ1巻しか読んでいないのでこれからが楽しみです。			
	1巻	544P (180分)		2010/08/11 01:41:04
	性的な話があまりにも多かったのでおすすめ度は3にしてしまったが、BOOK2,3を読んだらまた変わるかもしれない。 興味が持てたのは、天吾が数学教師でありながら小説を書いていたこと。その才能だけでも是非手に入れたい。実際に面倒なことには巻き込まれたくないし、自分にはそういう不可思議なことがど			

富士駿河 ☆☆☆	うしても苦手。長編であるにもかかわらず一気に（徹夜して）読めてしまったのは、疑問が「事情のつながり」によって解決する面白さ、快感があったからだと思う。読む度に1Q84のQが現れてはある時パッと消える、その感覚が最高だった。 1ヶ月半で14刷という信じられないほどのベストセラーが最初に読んだ村上春樹の小説だったとは…。実家にもたくさんあると思うので、エッセイも含めて読んでみたいと思います。たしか学長おすすめの本一覧にもあったような。			
	BOOK1	544P (290分)	11-55ページ	2010/08/09 09:12:50

WHISKYMAN ☆☆☆☆	この作品には人を惹きつける何かがある。先が気になってどんどん読んでしまう。しかし最後まで読んでも明らかにならない部分は多く、「読み終わったー」という満足感が残らないのは作品中に出てくる「空気さなぎ」と同じような感じなんだろうか。 細かい描写や比喩的な表現が多いところは流石です。それにしても登場人物みんな恐ろしく頭いい上に直感が鋭すぎる…！ 全体としては面白かったんだけど、個人的にBook3は内容の割にはダラダラ長かったと思ったので☆4つにしておきました。			
	全部	1630P (900分)		2010/08/06 00:24:30

栃木のイベンター ☆☆☆	途中だれる部分はあったが，最後はけっこう話に引き込まれまれ，おもしろかった．ただ世間で大騒ぎされるほどのおもしろさなのかは疑問.			
	BOOK1.2.3	1630P (720分)		2010/08/04 18:06:40

sky ☆☆☆☆	自分にとって初めての村上春樹。しかしこの本が読みたくてこの授業をとったのが本音。一度読んでみたかったんです。 文体が独特でセリフの比喩表現も的を得すぎていてなんだか本物の会話には思えない感じはしたが、読みやすく物語にグイグイ引き込まれた。とにかく先が気になる、不思議なことが多すぎてやめるにやめれない。そんな本。でも言葉の言い回しが若干パターン化しているように感じた部分に煩わしさを少し感じてしまったので☆４つ。 これを機に別の作品も読んでみようかと思います。 しかし心残りは3巻が手に入らなかったこと。誰か俺に3巻を届けてくれ…			
	1,2巻	1054P (1000分)	最初のほう？	2010/07/20 19:33:58

ドナルド ☆☆☆☆☆	久しぶりに，時間を忘れ本に没頭するということができた気がする. とりあえず，今すぐBOOK3を読みたい.			
	BOOK1,2	1054P (900分)	BOOK1冒頭部分	2010/06/29 10:22:12

7boys ☆☆☆☆	何かいつもと違うことがあった時、 それを受け入れるのか？とことん考えるのか？ さて、私ならどうするか？ 考え方というか、物事に対する姿勢は 天吾に近いような気がします。 個人的にはbook1と2で十分だったように思う。 「不思議なこと」を不思議なままにしておいても構わない。 3でわざわざ少しずつ明らかにしなくても良かったのでは？			
	all	1630P (800分)		2010/06/15 10:33:07

	自分は村上春樹の作品を読んだことがなかったので，作風が合うかどうか不安だったけれど，そんなのは杞憂だったようだ.

B4たかし ☆☆☆☆☆	徐々に日常が変わっていく不安定さ，絡み合う青豆・天吾の物語，何度となく響くヤナーチェクのシンフォニエッタ・・・ どれもこの物語を独特な雰囲気に包んでいます． 気づいたら2冊とも読み終えてしまいました．さあ，Book3をはやく寄越してくれ！ ちなみに「シンフォニエッタ」が気になりすぎて，CDどころか譜面も購入してしまった人はたぶん自分ぐらいだろうなあ．			
	Book1・Book2 全ページ	1054P (720分)	Book1 1章	2010/06/07 17:50:21

ボム ☆☆☆☆	村上春樹の作品はかなり読んでいますが、１Ｑ８４は今までとは少し違うなと感じました！！ 展開が早いといいますか、今までよりも無駄な描写を省いているように感じました！ ２人のストーリが少しづつ重なりながら進んでいく、ドラマのようなワクワク感を味わえますわっ！！			
	Book1全部	544P (360分)		2010/05/17 22:45:15

江戸川 ☆☆☆☆☆	作家でさえ、わかりやすいことをわかりづらく書く人が多い中で、 村上春樹の文章はやっぱり偉大なんだなと思い知らされました。 個人的に印象に残ったのは、青豆さんの「運命の邂逅」への想い。 密やかながら思い続けているあの人にどこかで出会えたらというのは、 すごく消極的かもしれないけれどすごく素敵なことですよね。			
	Book1	544P (270分)	第一章	2010/05/14 16:00:19

ukayare ☆☆☆☆	とりあえず面白いです。さすがいまや日本を代表する文学作家さんですね。文章の巧みさはさることながらそれに奢ることなく非常に読みやすい構成になっている(面白いかどうかは別として）。マルチキャストにするとはなかなか作品の枠組みとしても試行錯誤をしている感じがして、村上春樹のこの作品に対する意欲が感じられていい。 ただ…なんだろう、妙にこざっぱりしててなんか物足りない。そんな風に思うのは自分だけでしょうか？ ただまだ１巻しか読んでないんでまだまだ予断を許さないですね。 しかしちょっと濫読には向かない作品かもしれないです。 内容としてはまあ社会人（中年期）が好みそうなお話ですね。いわゆる中二病ならぬ社二病的物語。 最初は何のつながりもない２つの物語がほんのちょっとずつ近いづいていく感じはなかなかのもの。ただちょっと重い話やらエロい話やら、ちょっとグロい出来事とかもあるんでお気を付けを。 とりあえず青豆と天吾の関係は分かってきましたが、２人がどのようにクロスオーバーしていくのか？そして「リトルピープル」の正体は？「さきがけ」の真の目的とは？ふかえりの過去にいったい何があったのか？そしてこの世界１Q84とはなんなのか？ …book 2に続く！ 余談：			
	book 1	554P (500分)	最初？	2010/05/12 12:06:29

komu ☆☆☆☆	二巻だけつまみ食いしました。 村上春樹っぽさがでていて、今までこの人の作品を読んだことがない人が読むのにはちょうどいい感じだと思います。			
	book2 1-98	98P (120分)		2010/05/11 11:42:40

みぃたん ☆☆☆☆☆	読みやすい文章が好きです。 たまに幻想的な雰囲気が混じったり、早く読みすすめたくなるようなスリルがいいです。 続きが気になります。			

	book 1,2	1000P (1200分)		2010/05/10 10:43:29

rs ☆☆☆☆☆	村上春樹さんの作品にしては読みやすく面白かったです。1，2巻は奇数ページ、偶数ページで主人公が異なり、最初は別々の話が展開されていて、続きが気になってもすぐに読めないので、一気に読み進んでしまいました。			
	全部	1630P (1200分)	book2,431-444	2010/05/06 18:18:38

Unknown ☆☆☆☆	長いのに、スラスラ読めて疲れない文章力はさすが。 他の作品同様、読者を"不思議な世界"にいざなってくれる。 ただ、自分としては「海辺のカフカ」の方が好きだったので、☆は4つで。 ※ブックリストに載っていたページ数は2巻までだったので、3巻の分（592ページ）を足しました。			
	全部	1630P (840分)		2010/04/24 00:29:27

k.k.t ☆☆☆☆☆	村上春樹の小説は今まであんまりよくわからなかったけど、これは面白かったです。また時間があったら続きを読みたいー。			
	book1 11-193	183P (120分)		2010/04/20 13:01:35

TOPへ

猫を抱いて象と泳ぐ

著者名	小川洋子	発行年	2009年
出版社名	文藝春秋	ページ数	368ページ
値段	1,779円	ISBN	978-416327750
コメント	平凡に過ぎ去った一日の終わりに。あるいは、心がひりひり痛い夜に。 ちいさくあることのたいせつさ、強いものより善なるものを求めたいきもち。 象のインディラと猫のポーンが、チェスの名手リトル・アリョーヒンと奏でるピアニッシモの精妙なシンフォニー、 そっと耳傾けていただければさいわいです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
B4たかし ☆☆☆☆	激しく感情を揺り動かす文章じゃないのに 心にぐっとくる文体 時間がなくて最初しか読んでないけど 機会を見つけてまた読み直したい.			
	1-58	58P (60分)		2010/08/05 15:08:04
ditherman ☆☆☆	“最強の手が最善とは限らない．チェス盤の上では強いものより善なるものの方が価値が高い．だから坊やの気持ちは正しいんだよ”by マスター 主人公は，年齢的にチェスのアドバイスとしか理解できていないと思うけど，リトルにとって「チェス＝人生」だから同時に人生の先輩からの励ましの言葉でもあるんだね．仕事もまともにできないマスターだけど，彼みたいに子供に勇気を与えられるような大人になりたい. 思ったが，登場人物は主人公やマスターも含めて何か「大事なこと」に欠けてる気がする．もちろんある一面から見たらものすごく素晴らしいものを持っているのだけど，実際にリトルと同じクラスになったりしたら，やっぱり仲良くなれないと思う．たぶん「現実逃避」してるからだと思うけど，そういう負の部分を和らげて書いているから，主人公を応援したい気持ちが湧いたり，切なさを感じたりするのだと思う.			
	全部	368P (400分)	なし	2010/07/16 22:22:21
江戸川 ☆☆☆☆	この結末が彼にとってよかったとも悪かったとも言えないし、 他にどんな結末を迎えていれば幸せだったのかもわからない。 でも悲しくはない。 "トルコ人"は知っていたけれどもこんな話があるなんて。			

	静かなところで読むことを強くお勧めします。			
	全部	368P (180分)	17章	2010/07/09 11:56:19

RKJK ☆☆	軽く鬱になったため点数は低め 良くも悪くも地味な話。チェス盤と同じモノクロ調なイメージ			
	1-359	359P (300分)		2010/06/29 12:50:17

ボム ☆☆☆☆	チェスのルールが全く分からなくても、この空気になじんでしまえば違和感なく読めます。 今いろんなことで悩んでたり、現実的に考えすぎて困難な状況の方、疲れている方、どうしていいか分からないかたに癒しのサプリメントです！！ マスターの「慌てるな 坊や！」が、あなたの心にも届きますように。。。 泣くまではいかない、ギリギリの切なさというか、申し訳なさというか、哀しさがところどころにあります。			
	1-358	358P (200分)	109-114	2010/06/29 12:13:10

ぼくらのコブラ ☆☆☆☆	読んでいて絵本のようなイメージが浮かんできました。水性絵具で淡い色どり、だけどなぜか全体的に暗い配色・・・ その淡く暗い色とチェス盤に広がる宇宙の漆黒のコントラストが読んでいて、明るい色のない話の中に色をつけていました。			
	1-359	359P (180分)	マスターと回送バスにて	2010/06/08 17:18:02

くま ☆☆☆	刹那さと爽快さが同居していて、個人的には胸のつかえが取れた感じのする本でした。			
	1-359	359P (150分)		2010/06/01 13:07:17

Coppet ☆☆☆☆	物語で語られている人物、リトル・アリョーヒンが他の人の名前を呼ぶ場面が印象に残りました。 別れのときでさえ、名前を呼んでも届かない。 切ない気持ちにさせられました。 哀しいけど、心に残る作品だなーと思います。 蛇足。 p169でリトル・アリョーヒンが自分の指にマスターが刻んでくれた指紋が残っていることに気づいた場面から、ジャンプコミックス「ヒカルの碁」を連想しました。 こういう風に感じた人は他にいそうだけど、いないかな？			
	全部	368P (200分)	はじめから	2010/05/28 00:59:21

akilu ☆☆☆	タイトルが好みのセンスでｺﾚｷﾀ(ﾟ∀ﾟ)なかなか回って来ず、ようやくげっと チェスは好きだし（駒の動かし方しか知らないけど）、盤上の詩っていう表現もステキ。 文章はキレイでクセもなくとっても読みやすい。 しかしどの本を読んでも、内容よりも文章の書き方・構成を先に感じてしまうのが元文芸部の悪いクセ。 それ先に言うなよ～っていうのや、突然回想に入ったり「～～ことになるのだった」という文が入ったりすると、個人的にはいちいちヒートダウン。 哀しかったなんて言わないんだから。。。 あと、「毛」がどうしても合いませんでした 自分等身大の、背景や環境が共感できる設定の話のほうが好きらしいです。 僕、こんなに選り好みする子だったんですね……orz			

	あーズバッと短くコメントかけるようになりたいなー 追記 Coppetさんへ。ヒカ碁、私も感じました。			
	all	368P (150分)		2010/05/27 13:16:28

ありす ☆☆☆☆	ひたすらに優しくて、でもほんの少し悲しみの混ざった夢から覚めたときってこんな感じかもしれない。 ちいさなちいさな箱庭のような世界で、そっと紡がれる物語。そこには裏切りも打算も欲望も、醜いものは何もなく、ただ透明な時間が密やかに時を刻む。 やわらかな繭にくるまれて、穏やかな漣にたゆたって、優しい夢に浸る——そんな時間をあなたに。			
	ぜんぶ	368P (120分)		2010/05/19 22:03:25

Unknown ☆☆☆	ドレミが美しい旋律を刻むように、人は記号の羅列に美しさを見出すことができる。この本で言うチェスの棋譜がそれであり、読者にとってはこの物語の一文一文によって作り出される世界が美しい。 熱中して一気に読みましたというような本ではないので、まったりとした空気の中でのんびりとこの美しさに浸ってほしい。 ※チェスを知っていればもっと楽しめたのかなぁ？			
	全部	368P (150分)		2010/05/17 22:11:21

くらげ ☆☆☆☆	静かで明るい喫茶店に一人で入って、コーヒー片手にゆったり読む。そういう類の本だなと思った。 今まで読んだ本の中では「博士の愛した数式」が一番近い空気だけれど、それよりはもうちょっとネガティブな空気。 どこか遠くへ行ってみたい、広い世界を飛んでみたい、そんな感情は誰しもあると思うけど、それを主人公が幼い頃から諦めている感じが共感しづらく、また作品全体に漂う暗さはそこから来るものだと思う。 ただ、その限られた世界で彼は愛し愛されており、静かで狭い世界は彼が望んだ世界なのだから、一つの幸せの形なんでしょうか。 まとめると チェス×（静謐＋区切られた世界）×愛 な感じ。			
	1-180 , 330-359	209P (150分)	109-113	2010/04/25 16:57:09

7boys ☆☆☆	「良い」と評価がくだるのも、「良さがわからない」と評価がくだるのも、よくわかる。 少し長い寓話、と割り切れば、「良い」のかもしれない。 感動するポイントは十分よくわかる。 しかし、物語全体を包む少し暗い感じがどうも好きではない。 帯に「100年後まで残る傑作」とあるが、「博士の愛した数式」の方が傑作だと思った。			
	all	359P (200分)		2010/04/23 14:53:25

ポチ ☆☆☆☆	↓この流れをぶった切ってみます。 専門が英詩なので、チェス盤上（盤下）に浮かび上がる詩って何だろうな、と思いながら読みました。が、大学への行き帰りに電車やバスの中で断片的に読んだのがいけなかったのか、ストーリーの先が気になるのがいけなかったのか、特に対戦シーンはうわっつらしか追えず。次に読む機会があれば長いこと使ってないチェスセットを引っ張り出して、駒を並べてみることにしようと思いました。 蛇足ですが、個人的には小川洋子さんの作品なら『ブラフマンの埋葬』が一番好きです。			
	全部	368P (240分)	pp. 5-10	2010/04/18 01:03:24

あるみ ☆☆☆☆☆	c5 下の人が裏切った様なので私も。あ、あと上の人にはすみませんでした。 心にしみる、いい本でした。☆6つでもつけたい。 「博士の愛した数式」と同じく、「失うこと」への悲しみや恐れを表現しているのかなと感じました。 全編を通して、決して明るいお話とは言えません。でも、暗いというのとも違う。 悲しみと、喪失感と、取り返しのつかないことへの諦観が、静謐に流れ出てくるようなストーリー。 私にとっては、忘れられない作品になりました。			
	all	359P (210分)	43-	2010/04/14 02:32:46

弟子 ☆☆☆☆☆	e4 さすがに妙なことをしたと反省。 ウラジミール・ナボコフ「ディフェンス」、定金伸治「ブラックランド・ファンタジア」を足して2で割って隠し味に醤油を入れたような作品（この文章で何人が理解できるかは疑問だが）。特にナボコフの「ディフェンス」と比較するとこの本の方向性が見えてくる。生粋のチェスプロブレム作家でもあったナボコフと、日本の、それも本を読む限りではあまりチェスに造詣が深いとは心得がたい小川洋子を比較しても、なんら遜色なくこの本の「チェスを打てる事への感動」に近い感情を理解することができるのは、ひとえに小川洋子という作家の力量の賜物ではないだろうか。 こんな面倒くさいことに反応してくれたあるみ氏に心から感謝。それといち抜けることに心から謝罪。シシリアン・ディフェンスをどうもありがとうございます。次はNf3で。 いやだってさ、あんなエンディングされたら素直に悲しかったって言えないじゃない。男の子だもん。			
	all	368P (80分)	はじめから	2010/04/13 14:45:56

TOPへ

サハラ、砂漠の回廊

著者名	野町和嘉	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	119ページ
値段	3,400円	ISBN	978-4104025039
コメント	タッシリ・ナジェール、サハラ砂漠の最深部。 忘れないでほしい。ここはかつて、水ゆたかに溢れ、カバやワニが悠然と泳ぎ、人びとが白黒まだらの牛を飼って暮らした恵みの地であったことを。祭りの日には仮面を付けてみんなで踊り、祈りの時には両手を掲げて白い巨人を遙拝した繁栄の地であったことを。 エジプトに文明が栄えるずっとずっと昔。紀元前七千年から八千年間もの永き時を描き継がれてきたという岩窟の砂絵。不思議な乳房の描き方に見入りつつ、古代びとの呼び声に耳を澄ます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
サカサカ ☆☆☆	サハラの壁画や風景の写真集. 満点の星空の写真がめちゃめちゃきれい. 壁画の写真も多数掲載されており，それらの壁画は何を意味しているんだろう，と思った．一度はサハラへ行ってみたい！			
	all	119P (20分)	星空の写真	2010/08/16 13:36:07
wax ☆☆☆	壁画の画集。 でもそれ以上に砂漠が印象に残る本。 p31-32の赤い砂漠がとても美しいです。 アリが唐辛子の上に降り立って、 そこから見た風景はこんな感じなんだろうな、 と思いました。			
	1-116	116P (20分)	p31-34	2010/08/10 11:07:31
ドナルド ☆☆☆☆	一度行ったことありますけど，やっぱり砂漠っていいですね. 日本と比べると別世界すぎて，他の惑星に行った気分になります.			
	全て	119P (20分)	すべて	2010/07/30 17:17:19
hk ☆☆☆☆	砂漠の自然の美しさと、そこで生活していた人々の絵画双方に魅力を感じた本であった。 歴史のある絵画がもつ重厚な雰囲気に引き込まれた。			

	全て	119P (15分)	20,25	2010/07/27 15:45:40

Mr.Crazy ☆☆☆	砂漠は置いといて，星が綺麗です！ 流れ星が落ちてる写真もありました. てか砂漠ってこんな絵画あったんですね！			
	全て	119P (30分)		2010/07/20 13:01:26

sky ☆☆☆☆	本としては壁画がメインなのかもしれないが、それよりも砂漠の圧倒的な風景に目を奪われた。綺麗、ただひたすらに綺麗。 以前エジプトに行ったことがあるので広大な砂漠は見たことがあるのだが、写真は本当に綺麗な一瞬を留めることができるので、実際に見るのとはまた違う印象を与えてくれる。実際に見るのと写真で見るのとではやっぱり違うけど、どちらもそれぞれの良さがあるなと実感した。			
	全部の写真を流し見	119P (10分)	29-30ページ	2010/07/13 12:59:21

マシュ ☆☆☆☆	砂漠って今まで全く興味なかったけど、28-33ページあたり、最早過酷なところというより神秘的なところだなっていう感じがして、とても癒された。 108-109ページの、オアシスや流れ星がが見える風景もとても綺麗で、死ぬまでに一度見てみたい。			
	all	109P (30分)	28-33,108-110	2010/07/08 15:38:22

akilu ☆☆☆☆☆	どうして残ってこれたのか。 迷いなきライン、揺るがない主題。 謎や意味不明さはぬぐえないのに、どこかそんなに遠くのものではないように感じるのは何故だろう？ 空と大地の風景の写真は、言葉が呑み込まれてしまう。 世界ふしぎ発見とか、旅番組とかすごく好きなんだけど、ときどき自分と自分以外の全てを切り離してみたくなる。 誰も自分を知らない場所に突然行って、初めて見る風景に囲まれてみたい欲望を旅番組や写真集で満たしているのかも。 pp6-7のような岩場のひとつに仰向けになって、おそらく産まれたときのようにただ空の広さに涙を流してみたいと思った。			
	all	199P (30分)	pp108-109	2010/07/06 12:30:29

上場亮 ☆☆☆☆	砂漠のいろいろな表情が見れる。昼間は厳しい暑さだが、夜は綺麗な星空が広がっている。癒されました。			
	全部	119P (20分)	108ページ	2010/06/22 13:02:43

asce ☆☆☆	岩壁画を描いた画家の観察眼よりも、それなりの根拠はあると思うが、岩壁画を読みとる人たちの想像力がすごいと思った。 岩壁画よりも風景のほうがおススメです。 砂漠が魅せる摩訶不思議な世界を是非。			
	2-112	111P (60分)	6-11,28-35,98-99,108-109	2010/06/16 17:50:02

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	サンドアートの巨匠、風と光の作品を記録した画集。 作品のほとんどが土と空というシンプルな構成。なのに、こんなにも表情豊かなのは、さすが巨匠。 特に、星空の下、撮られた写真がとにかく明るくて驚きでした。			
	all	119P (20分)	6-9	2010/06/12 19:42:48

あんのーーん ☆☆☆☆	謎めいた壁画よりも風景の美しさに期待して本書を手にとりました。 特に美しく感動する風景は立ち読みポイントを参照ください。 読んでみると想像以上に壁画が面白かったです。 絵を見てどんな場面かを想像し、実際の考察を見てみてなるほどと思うことが多かった。 狩りの壁画が大変多いことで、昔は砂漠でなかった場所が砂漠化していっていることなどが連想されました。			
	全部	119P (20分)	6-9,32-35,108-109	2010/06/08 18:36:32

どかべん太郎 ☆☆☆☆	彼らにとって壁に絵を描くこととはどういう意味があったのだろうか。何を思って、何を表現したくて、何を伝えたくて絵を描いたんだろうか。 個人的には壁画よりも荘厳な風景に持ってかれてしまった。			
	1-113	113P (40分)	6-7	2010/06/07 14:52:11

ふり太郎 ☆☆☆	所々に出てくる砂漠の風景写真はほんときれいで、行ってみたくなりますが、この画廊は壁画がメインだと思うので、そちらの観点からのコメント。 壁画で過去の情景を表し、それを現在の写真と対比させることで、ホントに同じ場所でかつてはこのような暮らしがあったの？と思わせる。特に、壁画から感じる死者への思いやりなんかは発想力豊かだなぁと思いました。			
	all	119P (30分)	22,23	2010/06/02 14:39:48

Unknown ☆☆☆	実物を見たら印象は全然違うと思う。写真にすることで、実際そこにあるがゆえに感じることのできる壮大さを失ってしまっているのではないか。 ・・・とは言え、風景写真はとてもきれいで良かった。 そういえば、友達の卒業旅行が、サハラのすぐそばのチュニジアだった気が。			
	全部	119P (15分)	p8-9	2010/05/28 10:34:24

ｃnd ☆☆☆	思った以上に絵がきれいに残っていてびっくり。 一応絵ごとに解説が載っていますが、人によっていろんな解釈が出来るところが絵の面白さではないかなと。 実物をみてみたいなあー			
	1-119	119P (20分)		2010/05/25 17:08:23

スズキ ☆☆☆	サハラにある古代壁画についての写真集. どの絵もでこぼこした石壁に描かれているのにもかかわらず線がしっかりしており，シンプルである. 結構こういう絵，好きです			
	all	119P (20分)	84-85	2010/05/21 12:36:07

忍者 ☆☆☆	サハラ砂漠の過酷な自然の中で、かつての緑豊かな8000年間の様子を垣間見ることができておもしろかった。 当時、岩石から絵具を採取して岩壁に絵を描くというのはかなり大変な作業だったんではないかなと思う。 そうなると絵を描くといってもただの落書きや今のような芸術性の高いものではなく、 その時あった大事なことを記録したり、信仰を広めるために使われたのだろう。 だから動物の姿や人の営みを優れた観察眼で正確に描いてある一方で、 文字が使用されるようになると、記録は文字で行ったほうが効率がよく、 描写力は衰えていってしまったんじゃないのという妄想。			
	全部	119P (20分)	8,9ページ	2010/05/20 12:56:09

オレンジ ☆☆☆	一部白黒写真なのが残念ですが、カラー写真の多くはとても美しく、写真を眺めるだけでも十分楽しめると思います。 何枚かある砂漠全体を写した風景はロマンチックで、砂漠に行ってみたくなります。 これだけの文明を持っていた場所がいま砂漠になっているというのはとても残念に感じます。			
	全て	119P (45分)	pp.108-109	2010/05/18 12:29:08

溪華 ☆☆☆☆	様々な研究やデータで分かっていて、かつこうした絵が現実に今そこに存在していても、本当にあったかどうかは証明できない。でも、確かに存在していたであろう世界に引き込まれます。 会った事もなく、見る事もできない別世界の出来事と時の流れの前に呆然とします。 ここには人々が動き、動物が動く場所があり、それは確かにリアルな現実だと思う。			
	1-119	119P (15分)	40-41	2010/05/14 17:54:54

TOPへ

東京Ｒ不動産１・２

著者名	東京Ｒ不動産	発行年	2010年
出版社名	アスペクト	ページ数	334ページ
値段	2,180円	ISBN	978-4757217621
コメント	自分が住まう空間や働くスペースは、できれば自分で設計したいなあ。 そんな夢の入り口へ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ひまじん ☆☆☆	「こんな生活感のない部屋なんてありえねー」「どうせファッション業界やアート関係の人向けでしょ」などと、文句を言いながら読みました。でも、本当は羨ましいです。こんな部屋に住みたいです。そういう物件がたくさん載っています。			
	１・1-99ページ	99P (60分)	60-67	2010/08/14 04:37:45
yuigawa ☆☆☆☆	建築を学んでいる友人に見せたくて本屋で購入。 人と回し読みしながら「この家いいなぁ」とか「こんなのあり？」とわいわい過ごすだけで夢が広がるようで楽しかった。 アイデアを殺さないということがいかに大事か、ということを考えた。空間とはまるで生き物のようだ。きっとそういうことって他にもたくさんあるのだろう。			
	全部	334P (50分)		2010/08/13 05:18:03
ぼくらのコブラ ☆☆☆	住み手の発想次第でどんな部屋でも個性を発揮するんだなぁ～ と深く実感してばかりでした 自分も自然のある部屋に引っ越したくなりました No green No life あっでも金が…			
	ぜんぶ	159P (70分)	用賀の物件	2010/08/11 15:55:51
ボム	一度きりの人生だから、ずっと同じ家に住むのはもったいない！ 東京都２３区すべてに住むことを目標としている私にとって、（今のところ３区クリア）、この本は希望となりました。			

☆☆☆	東京にもこんな素敵な物件がたくさんあったんですね！読んでいると外国にいるような気分になりますね。			
	1-144	144P (30分)		2010/08/11 13:01:04

wax ☆☆☆	東京R不動産の物件紹介。 最近では家を改修するのが一つの魅力になっている気がします。 僕も将来はゆっくりと改修しながら日々暮らせるような ライフスタイルを送りたいです。			
	11-175ページ	165P (60分)	106-111ページ	2010/08/10 10:48:02

Solar ☆☆☆	長く住むと思ったとき、自分はここまで拘りを持って住居探しをするんだろうか。 家探しが現実になったとき、こんな本が手元にあったらいいなぁ。			
	1のほう。	174P (80分)		2010/08/08 15:42:34

まー ☆☆☆	一人暮らしの家を探す時、間取り図を見てるだけでもわくわくしてました。 こんな家に住んだら楽しいだろうなぁーって家がいっぱいのってます。			
	1-180	180P (90分)		2010/08/06 15:26:02

ぼるてぃー ☆☆☆☆	いま自分が住んでいる部屋と比較してしまうと、自分の部屋にはなんて個性がないんだと痛感。現状に不満があるわけでもないのに、これを見るとどうしてもね。改装ＯＫの物件とか楽しすぎると思う。			
	２巻全部	159P (60分)	24-27	2010/08/06 14:25:52

栃木のイベンター ☆☆☆	様々な物件があり，実家暮らしの私は今すぐ1人暮らしをしたくなるような本だった．特に屋上にある部屋はまるでドラマの世界のようで興味深かった．			
	2巻	159P (20分)		2010/08/04 18:19:36

hk ☆☆☆	面白い物件が多く見ていて楽しかった。 発想の転換でこうした、動きにつながるのだなと感じた。			
	一巻全部	174P (60分)	97-101	2010/07/27 14:53:03

ポチ ☆☆☆☆☆	凝ったつくりの建築物よりは「のんびりできる住まい」の方が好きだと自覚しております。 家庭教育の結果、不動産を見る際のポイントは「掃除のしやすさ」だと心得るようになりました。 そんな私に、次に重要なポイントは「窓からの眺めのよさ」だと教えてくれた本であります。山育ちなので、やはり木が見えないと落ち着かない。広尾の有栖川宮記念公園に住みたいです。			
	2巻全部	159P (60分)	2巻 pp. 42-49	2010/07/23 20:28:51

かずT ☆☆☆☆	需要と供給の問題で，マニア向けの物件を扱うマニアな業者があるのはいいなと思った． 物件関して言うと，外観の良い物件は中身もよい，住んでいる人もいい． これに尽きると思う． いいとこに住みたいと思いました．			
	1-163	163P (45分)	151-156	2010/07/04 23:17:29

つて ☆☆☆☆☆	家が好き、自分好みの家に住みたい。 そんな欲求をもっているみなさん（私も）におすすめ。 「なぜ人生で一番高いお金を払って買うものがこんなにも気持ちよくないことだらけなんだろう？」 本書を読みながら、理想の「家」を妄想してください！			
	2巻全部	134P (60分)	お好きに	2010/06/29 10:50:52

Mr.Crazy ☆☆☆	パラパラと読みました．掲載されている物件は特殊なものばかりで，面白いけど自分で住みたくはないです．将来は大きな一軒家を建てよう．			
	1巻	174P (20分)		2010/06/22 12:05:11

mnts ☆☆☆☆	写真を見る限り物件自体が特殊である以上にその物件の住人のセンスのよさが際立っている。もし同じ物件に住んだとしても私ではこうはなるまい。どんな部屋でも使う人次第なんだなあと思わせられた。			
	2	159P (60分)		2010/06/21 15:42:34

unknowoman ☆☆	いいなー。こんな家に住んでみたいなー。 ネットもみてみたけど、色々住宅にもこだわりを持つ人が多いのだな、と実感。 ただ、ネットに書いてある情報と本の情報ほとんど同じじゃないか？ 住んでみた人のことが本には書いてあるが、それにしてもカタログでこの値段がつくのねー。それだけ、みんなが気になる住まいのテーマなのかも。			
	2すべて	160P (40分)	138-144	2010/06/17 17:49:01

かーたか ☆☆☆	読むとうかカタログ的な感じですけどね。 「快適」とは何か？「生活」とは何か？ そんなことを考えさせられます。快適とかいう言葉で住宅が語られている現状もあんまり同意できないが。 まとにかく東京には面白い建築とその物語があるということですね！ 引っ越しのときはリアルに検討してみます。			
	電車	140P (50分)	92-95p	2010/06/16 19:35:04

ditherman ☆	・一度講義で皆さんのプレゼンを聞いてしまっているので，自分だったらこうするのになどのアイディアが生まれなかった．できれば講義前に読みたかった． ・各物件の説明が簡潔すぎて，最後の方には新鮮味が感じられない．驚きがない．			
	全部	175P (120分)	なし	2010/06/14 23:03:10

maaa ☆☆☆	読んでいると家が欲しくなる本でした。			
	8-30	23P (15分)	なし	2010/06/14 21:09:31

なかま ☆☆☆	立ち読みポイントはskyさんと同じ「ミカヤマ栄光の軌跡」。 出来上がった物件も素敵だけど、それが世に出てきた過程も興味深い。 そういえば、先週新聞で発起人の馬場さんが取り上げられていました。 ミカヤマがロードスターを乗り回すようになれる日まであとわずか！			
	全て	143P (30分)	ミカヤマ栄光の軌跡　～	2010/06/10 15:15:57

sky ☆☆☆☆	どんなものでもたった一人が欲しがればそれは商品になる。 人の好みは千差万別、うまい商売どころを見つけたなぁと感心しました。 どれも目的がしっかりした建物ばかりで、将来一度でいいからちょっと変わった家に住んでみるのも面白そうだな、と思ってみたり。住み方次第でいか様にも変えられると教えられた気がします。しかし写真で見るだけでは分らないところも色々とあったりね。 と、いうことで行ってきました。一巻で紹介されていた「眠庵」。神田駅から徒歩7分くらい。裏道にひっそりとある入口には…気づかず一回素通りしてしまいました。本当にビルの隙間にちょっと暖簾が掛けてあるだけ、かなりの違和感を感じずにはいられない。看板もなし、表札が申し訳ない程度についているのみ。入っていいものか悩みましたが、せっかく高い電車賃を払って来たのだから意を決して突入してみる。そしたら予想以上の狭さ。四人掛けのテーブル二つ、二人がけのテーブル一つ、カウンター席四つ、計14人分の席のみ。完全に挙動不審になりながら席につき、なんとか蕎麦を注文。そば粉の産地は日替わりらしい。本日は栃木と茨木の二種盛り1160円也。交通費合わせたら一体昼飯にいくら使っているんだとちょっと苦笑い。しかし蕎麦は美味かった(二種類の違いがよく分らなかったのは秘密)。久々に十割蕎麦を堪能。店の雰囲気も本当に隠れ家みたいで、かなり落ち着いた空間になってます。夜には居酒屋としてやっているみたいなので、いつかまたひっそりと行ってみようかな。 以上、「眠庵」レポートでした。（あれ？趣旨が違うかな？w			
	一巻全部	173P (60分)	ミカヤマ栄光の軌跡	2010/06/07 16:50:18

akilu ☆☆☆☆☆	よし、引越ししよう。 という方向でコメントするつもりだったが、路線変更。 この本の前に「『20円』で世界を～」を読んでいたせいか、自分の将来の働き方について考えをめぐらせることとなった。 この本にしろあの本にしろ、行動力のある人たちのお仕事だ。 しょぼいクリエイティブ魂を持ち合わせた僕が、R不動産の仕事に魅力を感じないわけがない。 けれどセンスに関して、センスは良し悪しではなく会う合わないだと思ってはいるけど、それでも僕にセンスはない。。 それに慎重派の僕は、新卒から安定した会社に就職して、普通に結婚して普通な家庭を持って、同じような毎日のなかで少しずつ趣味を楽しんでいく、そんな人生でもいいと思い始めている。 だから、行動力maxで刺激的な毎日に真正面から参戦するのではなく、たとえばp137に出てくる、プレゼンを受けて情熱に共感し、融資をする銀行員になら僕はなれると思う。 そんな参戦方法でもいいでしょ？ 長々と失礼しました。			
	2all	159P (90分)	開いたところ	2010/06/04 12:46:22

DAIKINエアコン ☆☆☆	日頃 「こんな建物なんに使ってるんだろう・・・？」 というような物件を池袋サンシャインの通りのちょっと裏あたりを歩いているとよく見かけます． けれど，この本を読むと，どんな建物もそれなりにそれなりな利用法があるように見えてくるから不思議． とくに印象的だったのは，2000万円代の超ちっちゃいビル．使って使えないものは無いという感想につきます．			
	1-140	140P (60分)	パラパラーっと見ましょう	2010/06/03 00:55:40

ろしあ ☆☆☆☆	間取り図を見るのが好きになりました。 将来の野望は二拠点住居！			
	2を全部	159P (80分)	106 今度行ってみたい	2010/06/01 13:08:20

Coppet	ただの人（車も？）を収容する箱がこうも変わってしまうとは！ ライフスタイルに合わせた空間どりって大事だなーと思いました。 眺望がよい家にはかなり惹かれますね！

☆☆☆☆	門前仲町リノベーション（p74)は個人的にかなりのお気に入り。 これに広い浴槽（not ユニットバス）がつけば完璧！			
	1 全部	174P (100分)	59-80ページ	2010/06/01 12:49:46

あるみ ☆☆☆☆☆	住めば都、と言うけれど、できれば自分の都は自分で築きたいもの。 人に理解されなくたって、構うこっちゃない！ ・・・とはいえ、この本で紹介されてる都はどれも素敵過ぎる。 まさに遷都大成功例？			
	1全部	174P (90分)		2010/06/01 05:26:34

chocolate ☆☆☆☆	建築にとっても借り手にとってもオンリーワンの相手を見つけられる場所を提供してくれているのが東京R不動産なのだろう。 ただ、住み手に要求されているものも高いような気がして、私のような平凡な○LDK形式で育った人間にはなかなかハードル高い家だ。 っと思いながらも...実際のHPで物件まで見てしまった。			
	1-175	175P (40分)	126-129	2010/05/28 20:32:51

hulk ☆☆☆☆	住居にこだわると生活が楽しくなる？それともその逆？ 2拠点生活はあこがれますね．将来のライフスタイルの目標になりました．			
	2 全部	159P (90分)	pp.109-	2010/05/25 13:13:36

弟子 ☆☆☆	今現在、机の下に布団を敷いて寝ているワタクシにとって、広い部屋を見るだけでクラクラする。 デザインに凝っている部屋、何も無くただだだ空間が占拠する部屋、屋上にある部屋、スケルトンな部屋。 単純に部屋に面白さを見出すだけでなく、その部屋がある地域の特性も含めてきちんとコンセプトが建っており、意匠理由がしっかりしている点は読み応えがあった。部屋に個性を求めるのであればこれほど「十人十色」な本もあるまい。『万人に向ける売り方』ではなく『好いてくれる人を探す売り方』には共感を持った。画一的な商品が全てではない、そう語りかけてくるようで。 が、どこに住もうと部屋の「取り扱い方」は自分だい。自分が住めばどうせどんなに趣向を凝らした部屋であれその意匠理由には気づかずに、床一面に本とCDを平積みにして布団の周囲に城下町を築くのだろうか。			
	all	334P (40分)	お好きな部屋で	2010/05/24 20:59:43

kyk ☆☆☆	人が住まうことによってその場所の価値が見直されて 新たな意味が吹き込まれて行く。リノベーションは東京で忘られてかけていた「住まう」ことの本質を教えてくれると思った。 ここにあげられている物件を全部が全部「いい」と思う人は多分いないだろう。それは住まいは、住人独自の価値を表出する空間であるからである。			
	1巻全部	174P (120分)	16-21	2010/05/24 14:20:52

オレンジ ☆☆☆	日本の家はなんて平凡なのだろう。 そう感じさせられます。 自分は平凡な家にしか住んだことが無いので、この本のような物件はなかなか刺激的でした。 ただ、実際にここに紹介されたような家に住んだときに、長い間住みたいと思えるかどうかは正直分かりません。 とはいえ、デザインや地域の中での役割など、色々と考えられた物件ばかりなので、その分野に興			

	味があれば十分面白く読めると思います。			
	2を全て	159P (100分)	pp.114-125	2010/05/18 12:23:59

たざわ ☆☆☆☆	古くても汚くても新しい価値があるから、東京R住宅で家を借りたり買おうと思うのでしょう。 築年数や駅から何分といった今までの住宅を探すことと全く違います。 自分も独立したらこのような家で暮したいです。			
	1,2巻すべて	344P (100分)		2010/05/17 16:57:21

7boys ☆☆☆☆	なんて私は平凡な家に住んでいるんだっ！今すぐ引っ越すべきなのではないかっ？ そんな気分になってしまいました。 しかし、かく言うワタクシ、1人部屋も子供部屋も与えられず、4人家族なのに1LDKに住んでおり、みな、リビングで生活をしているので変わった家なのかも。 ・・・東京R不動産に売り込む？			
	1をall	175P (45分)	50-53,86-89	2010/05/17 10:34:04

TOPへ

シブすぎ技術に男泣き！

著者名	見ル野栄司	発行年	2010年
出版社名	中経出版	ページ数	100ページ
値段	952円	ISBN	978-4806136040
コメント	なぜか10名もお迎えした機械物理工学専攻のみなさまからのツッコミを謹んでお待ち申し上げます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Asagi ☆☆☆☆☆	魂が感じられる一冊。 発注元に振り回される技術者の悲しさ。それでもいいものを作ろうとする矜持。 そして自分の作った機械が使われている光景を見て、技術者でよかったと思う瞬間。 でも、もう少し、救われる話が読みたかったかも…（汗			
	ぜんぶ	100P (30分)		2010/08/18 18:28:01
鍋工房 ☆☆☆	「採算は合うのか？」とか「この機械の値段はどのように決まっているのだろう」とかばかり考えてしまう自分が少しイヤになった…			
	all	100P (40分)	8話	2010/08/18 04:11:26
布団が敷いてある ☆☆☆	とにかく渋い！ ４章なんかは特に渋さがきわだっていておもしろかった.			
	全部	100P (30分)	4章	2010/08/11 14:29:04
栃木のイベンター ☆☆☆	機械屋さんの苦労がよくわかる1冊だった. 特に苦労して作ったのに，日の目をみることができなかったゲーム機（ドラムマ●アとか）の話はおもしろかった.			
	全部	100P (40分)	第3章	2010/08/11 11:16:52
まー ☆☆☆☆	日本はやっぱり技術立国で、職人さんに支えられているんだなぁーと思った。 でもそれと同時に自分にはあまり向いていない気がしたのも確かだった。 文系就職かなぁー。			
	1-100	100P (80分)		2010/08/06 15:22:59

1412 ☆☆☆☆	現場を知らない東野さんが印象的だった。当たり前だけど、学校の勉強だけじゃ不十分なんだなあ。就職が怖い。			
	全部	100P (30分)		2010/08/06 13:50:26

つばくろう ☆☆☆	この本を読んで改めて技術者にはなりたくないと思いました。 やっぱり自分は文系就職のほうが向いていると実感しました。			
	全部	100P (50分)		2010/07/29 17:11:06

くらげ ☆☆☆☆☆	ずっと読みたかったんだけど、なかなか戻ってこなくてゲットできなかったこの本を、ついにゲット！ 自分が未熟者なせいで「あるあるネタ」とまではいかなくても「ありそうありそうネタ」くらいな感じで。中小企業の技術者にとっては、かなり親近感が沸くんじゃないかなあ。 逆に機械とも電気ともまったく関係ない人には、意味が分からない感じで楽しめない気がする。かくいう自分も、おそらく２年前だったら楽しめなかった…。 設計したことがあるかないかで、この本の評価は大きく変わるんじゃないかと。			
	all	100P (40分)	68ページとか心当たりありまくる	2010/07/20 21:43:42

an ☆☆☆☆	内容はよくわからんかったが（笑）、情熱を傾けて日々徹夜する彼らに男泣きです。			
	全部	100P (40分)	4章	2010/07/15 17:56:35

chocolate ☆☆	うーん。まず手書きって読みにくいなーっと思って、見た目からしてちょっと無理だったけど、途中までは読んでみました。			
	1-159	120P (15分)	うーん	2010/07/13 12:48:57

マカロニぺんぎん ☆☆☆	最初の部分は「あ、これは面白そうだな」と思わせる導入かと感じられました。が、内容は作者の苦労話がほとんど。きっと実際に現場にいれば驚くべきことも沢山あったのでしょうが、漫画にするとちょっと地味すぎるように感じられました。 ノンフィクション漫画には「嘘にならないギリギリの誇張」が求められると思います。「事実は事実として正確に」という理系の性が抜け切れていなかったのかも？			
	全部	100P (60分)	導入部分	2010/07/13 01:56:59

ありす ☆☆☆☆	ちょっと専門用語が多くてわからないところもあったけど、 技術屋さんってすごいんだなあってわかったからいいかな。 Ｔシャツ用プリクラのくだりは電車の中で読まない方がいいです。 一人で笑っちゃって恥ずかしかったので。笑 漢字間違いがあったのがちょっと気にかかったりしてます。			
	ぜんぶ	100P (30分)	プリクラあたり。	2010/07/12 22:01:11

atom ☆☆☆	渋いな～ 製造業に関しては知識も正直興味もないけど、こういったヤスリの技術なんかが日本のものづくりを支えているんだなと思った。			
	3-46	44P (30分)		2010/07/06 13:11:32

hulk ☆☆☆☆	技術者というのはロマンを追い求める生き物なんですね. しかし，技術者が生きるも死ぬも製品のコンセプト次第なんだな，と実感.			
	全部	100P (45分)	103-129	2010/06/22 13:07:18

sky ☆☆☆	技術者ってもっと高給取りになって良いと思うんだがなぁ。 でも「作る環境があればよい」「ただ作りたい」との考えで、給料にそこまでこだわらない人たちが他の職業より多いんですかね。いや、そういった評価が周りからなされていないのか…？ とりあえず、こういったエンジニアが日本のものづくりを支えているのは間違いないんだなと、再認識した一冊でした。 ちなみに僕はポンチが苦手でした。この本に出てくる職人によると根性が曲がっているとポンチを外すらしい。なるほどね、納得。			
	全部	100P (30分)	130-134ページ	2010/06/18 17:04:33

chicken-run ☆	特にシブくなくて男泣きもしない本 ちょっとためになりそうな日本における歴史的な技術開発のお話は前半３分の１程度で終わってしまい、その後は著者自身の武勇譚とも苦労自慢とも愚痴ともつかないグダグダした話が延々と続きます。しかも絵がキモいです。 著者自身とその周りにいる一部の技術者の人間性を極端に美化し、それ以外の人物の人間性をとことんまで貶める姑息な描写の仕方は読んでいてひどく不愉快で反吐が出ます。しかも絵がキモいです。 また、「自分たち技術者はこんなに頑張っているのに、周りの人（営業の人やスポンサー）のせいで全然結果を残せない」みたいなストーリーの書き方は明らかに偏見に満ちていて、これまた読んでいてひどく不愉快になります。しかも絵がキモいです。 最後に付け加えると、漫画の絵がキモいです。			
	全部	100P (40分)		2010/06/15 01:55:00

akilu ☆☆☆☆	楽しく読めて大変勉強にもなりました。 技術者のおっさんたちカッコよすぎる。 何も言わん。読めばわかる。 続編が読みたいです。			
	all	100P (60分)	座禅のシーン	2010/06/14 17:35:29

海老ちゃん ☆☆☆	日本のものづくりを支える大切な文化が、垣間見えるかも。 どんな製品であっても僕らが想像できないような、誰か（エンジニア）の努力によって生まれている。そう思うと今打ってるキーボードも・・・ 一つ一つのモノに、作り手の気持ちを感じられたらいいなぁ。			
	すべて	100P (70分)	66-80	2010/06/07 21:31:19

maaa ☆☆☆	エンジニアがどんな感じかコミカルに描かれている。 エンジニアがどんなものなのか、わかりやすい一冊だった。			
	全部	100P (40分)	48-63	2010/06/02 12:48:19

ばっは ☆☆	専門知識がないとわからん部分がおおい。共感しにくいマンガだし、あこがれもわかないからちっときつい。 ギャグとしても理系な人々ほど共感できない部分はマイナスかな。 同じ漫画なら、日本語のほうを強く勧めます。			

	全て	100P (50分)	スカイシューター	2010/06/01 08:06:40

rs ☆☆☆☆☆	ねじ穴一つ開けるのにも手間がかかる・・・実際に体験した事なので、大きな機械を作るのがどれほど大変なことなのかということがすごく伝わりました。 ものつくりにかける技術者たちの情熱が伝わってきました。			
	全部	100P (60分)	130-134	2010/05/27 15:49:42

ふり太郎 ☆☆☆	漫画チックに手軽に書かれていますが、日本の技術基盤を作ってきた、技術者たちの重々しい情熱が伝わってくる本でした。思い立ったら実用性もかえりみず、一心不乱に開発に取り組む姿勢が技術者たる心構えなのかな？と思いました。「失敗をモチベーションのせいにするなかれ」、その通りだと思います。			
	all	100P (40分)	103-117	2010/05/21 14:25:03

マシュ ☆☆☆☆	ものを作るというのは本当に大変なことなのだなというのが分かった。細かいところまで真剣に考え尽して、無茶ぶりにも頑張って対応してと、本当に尊敬です。 僕は機械系ではないのでエンジニアという感じにはならないと思うが、東工大の友達とかは結構こうゆう感じになるのかと思った。			
	all	100P (30分)	22-27	2010/05/20 19:12:48

どかべん太郎 ☆☆☆	個性的なキャラに共通するのはモノづくりに対する熱い思い。 エンジニアに悪いやつはいない。			
	3－159	157P (60分)	81－85	2010/05/17 14:23:44

mnts ☆☆☆	話に登場する人々の中に職人魂がつまってます。 機械の制作に関する実際の体験が描かれているので、製品を作る過程ではこういうことをするんだとか、こんなことがあるんだなど色々と参考になります。 失敗談が多いのを見て数ある失敗があるからこそ成功作が生まれるんだなあと感じたり。			
	all	100P (30分)		2010/05/16 18:07:26

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	職人がものづくりに費やす時間やエネルギーのすさまじさが分かる。 その労力が、登場する職人の口から出るセリフに説得力を持たせている。 「掃除や片付けができねぇ奴は必ずケガすんだ」 自分の机を見て冷汗が出ました。			
	all	100P (60分)	129-134	2010/05/15 20:09:31

スズキ ☆☆☆	日本の技術者の熱い魂がこもった一冊. 大学1年の時にボール盤，溶接など加工の体験をしたが，これがなかなか難しい．教えてくれた担当のオヤジはそれを何十年と繰り返して技術を磨いていたのだろうな，ということが実感できました．こだわりがすごい			
	all	100P (40分)	130-134	2010/05/14 17:30:36

忍者 ☆☆☆	一見無理そうな企画でもなんとかかんとか作り上げる職人魂を感じた。 開発では原因不明のエラーがいくつも現れるけど、その度に職人技で乗り越えていく姿が興味深い。 やっぱり日本の技術力はこういった職人さんに支えられてるんだと改めて実感しました。			
	全部	100P (20分)	98-123ページ	2010/05/11 19:40:27

あんのーーん ☆☆☆☆	設計を考え、それを実製品にしヒットする。それは失敗の連続の上にあり、改善を繰り返し、商品を洗練していった結果、実る。 だけでなく、苦労して開発した商品が実は一足早く他社が完成させていた！時代に対応できないがために年月かけて作ったものがお蔵入りになった！作っている最中に、これ需要あるのかって気がついた！ ちょっと悲しい気持ちになった。			
	全部	100P (30分)	作者の過去	2010/05/11 18:33:30

TOPへ

鹿男あをによし

著者名	万城目 学	発行年	2010年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	454ページ
値段	686円	ISBN	978-4344414662
コメント	セントくん跋扈する旬の奈良へＧＯ！ 「マイシカ」がド真ん中のツボでした。 ふうん、奈良の人ってスーパー行くのもマイシカなんだ、そうなんだ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
kyk ☆☆☆☆	鹿男かよ！！ と思ったがなかなかふかいと思った。			
	全部	454P (180分)	全部	2010/08/18 15:40:23
Mr.Crazy ☆☆☆	ドラマを見ていたので読んでみました. 「おれ」が出てくると玉木宏が自然と浮かびます. こういうありえない設定の方が割と好きです.			
	全部	454P (180分)		2010/08/16 13:07:31
1412 ☆☆☆☆	おもしろかった。たまにはこういう本もいいかもしれない。			
	1-454	454P (180分)		2010/07/27 11:51:01
RKJK ☆☆☆	あまり合わなかった… 歴史とかが好きな人だと楽しめるんじゃないかと思う 一番おっ、と思った点は 大阪の食い倒れ、京都の着倒れ、奈良の寝倒れの辺り。 ちょうどこれの前に読んだ「うちのトコでは」で知ったばかりの言葉だったので			
	1-442	442P (240分)		2010/07/20 12:12:43
	読み始めてから読み終わるまでずっと噴火しそうだった。特にビスタカーが「目」に迫るシーンでは夜２時であったにもかかわらず叫び声が漏れそうに…。あと剣道の試合でも頭から煙を上げていた気が。			

富士駿河 ☆☆☆☆☆	知的、感情的両方ともに興奮する話だったと思う。一度読み始めたら文字通り止まらなくなった。 立ち読みは多分無理かも（だから立ち読みポイントは「なし」）。 あと、以前奈良に行った時、暇そうにしている鹿を見つけました。奈良公園の鹿は鹿せんべいが本当に好きなので、怖がらずにあげた方がいいと思います。躊躇していると追いかけられることがあります。			
	全部	449P (210分)	なし	2010/07/09 03:18:09

みぃたん ☆☆☆☆☆	面白かったです。最後にはとても愛着のわく本でした。 あまりない内容だと思いました。 古墳時代にも少し詳しくなって、ちょっと日本史を勉強して京都奈良に行ってみたいって思いました。 久しぶりに高校のころの反発的な感じと、それに対する教師の対応を思い出しました。			
	1-454	454P (500分)		2010/06/24 09:33:31

unknowoman ☆☆☆☆☆	ぶっとんでて甘酸っぱい！教養に満ち溢れている(?)がくだらない！こういう小説、好きですねー。			
	すべて	454P (200分)	すべて	2010/06/23 20:42:34

あるみ ☆☆☆☆	プリンセストヨトミが好きになれなかったので、こっちでリベンジ。 これは、よかったです。後味もいいし。 でもね、PC一台吹っ飛んで、データ全部消えちゃうようなデータ管理は、頂けませんねえ。 バックアップくらいとっておきましょうよね。いい大人が、そりゃ自己責任でしょ。			
	all	442P (150分)		2010/06/22 10:32:12

栃木のイベンター ☆☆☆☆	ドラマも見ていたのですが，小説もやはりおもしろかった. ありえない設定なんだけど，それでも一気に読んでしまった. 個人的にはプリンセストヨトミよりもおもしろかった.			
	全部	454P (210分)		2010/06/15 10:31:35

rs ☆☆☆☆☆	一人鹿一匹、マイシカを持ちませんか？			
	全部	454P (150分)	全部	2010/06/14 16:54:15

chocolate ☆☆☆☆	つてさんが言うようにぶっ飛んだ話だったけど、京都や奈良といった場所性と歴史をうまくファンタジーと結びつけた小説だと思う。			
	1-442	442P (120分)	ぜんぶ	2010/06/12 16:35:30

つて ☆☆☆☆☆	こんなぶっとんだ小説ははじめてでした。			
	all	454P (100分)	all	2010/06/08 11:06:33

江戸川 ☆☆☆☆	展開が読めるのに飽くことなく読める。 そこに作者の筆力を感じました。 主人公はかっこよくないし神経衰弱だけど男前でした。			
	全部	454P (210分)	257-295ページ	2010/06/08 09:23:58

くらげ ☆☆☆☆☆	人間関係がうまくいかなくなって、女子高の臨時教師となった主人公。しょっぱなから生徒と上手くいかずにギクシャクするけど、事件に（生意気な鹿によって）巻き込まれ、困難を通じて打ち解けて…。 みたいな、よくある話ではあるけど、サラっと読めて、鹿がポッキー食べるみたいな笑えるシーンもほどほどにあって、最後はあっそういうことだったのね！と言わせて、全ての要素が一通りそろった気持ちいいフィクションでした。 とりあえず立ち読みポイントまで読むこと。一度その前で読むのを辞めかけたのですが、そこからがストーリーのはじまりでした。			
	all	454P (250分)	P77	2010/06/07 22:14:18

Unknown ☆☆☆☆☆	ドラマを見ていたので役者の顔ばかり思い浮かんでしまい、先入観があるのはダメだと思いながらも、やっぱり面白いと再認識。 普段は推理小説ばかり読んでいるが、これからはこんな荒唐無稽な話にも手を伸ばそうかなと思う。 454ページと比較的長い作品であるが、非常に読みやすいのでお勧め。 ちなみに、鹿島アントラーズファンの自分としては、鹿男=しかお（鹿島のマスコットキャラ）と思えて、非常に親近感がわいた。			
	全部	454P (120分)		2010/06/03 10:33:58

ばっは ☆☆☆☆☆	ドラマにはまっていたのでぜひ読んでみたいと思ったら、メインヒロインまで違うというか藤原先生は男でした。 原作ってこういうものですよね。それにしてもこのストーリーは元ネタはどこからきているのかというほど謎めいたフィクション。アフターストーリーのない直木賞候補らしいあっさり感がいい小説です。 1800年越しのラブストーリーを楽しんでください。			
	1-454	454P (80分)	ネタばれしない前半部分	2010/06/01 07:58:17

ありす ☆☆☆☆	遷都1300年、悠久の都・奈良を舞台にしたトンデモファンタジー。 主人公は神経症傾向がありコミュニケーション不全（鹿とはコミュニケーション取れるのに）、それに加えてちょっと冴えない感じといった何とも言えない「俺」。燦然と輝く剣を携えた勇者、いわゆるファンタジーお約束の主人公像とはほど遠い。 ヒロインは女子高生「イト」。年寄りくさい名前だとか魚みたいな顔だとか、乙女に対してこれはないでしょうと突っ込みたくなる。 歴史や神話が嫌味にならない程度にちりばめられていて、読む人を選ばない小説だなあ、って感じ。 個人的にはプリンセス・トヨトミの方がぶっ飛んでて好き。			
	ぜんぶ	454P (90分)		2010/05/31 09:57:30

弟子 ☆☆☆☆	日本文化には『お約束』という文化がある。人気作家ともなれば、お約束の一つや二つ当たり前。 どこにでもいる冴えないヒーローの名前は不明（作中にでてこない）。つれない態度が気になるヒロインの名前は堀田イト。ごく普通の二人は、ごく普通のちょっと歳の離れたボーイ・ミーツ・ガールをし、ごく普通の無駄にレベルの高い白熱したバトルシーンを展開し、ごく普通の人には言えない秘密を抱え、ごく普通の意外なところから発見される伏線を回収し、ごく普通のマジック・アイテムを悪の組織と奪い合いました。 でも、たった一つ違っていたのは、主人公は鹿だったのです。

・・・足りないのは「無意味なサービスシーン」くらいか。期待していたのに・・・。			
all	454P (100分)	ぜんぶ	2010/05/24 19:01:22

TOPへ

神去なあなあ日常

著者名	三浦しをん	発行年	2009年
出版社名	徳間書店	ページ数	290ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4198627317
コメント	「林業」っていうより「木こり」って呼びたいオッサンや兄ちゃんたちの元気はつらつ大躍動。クライマックスシーンで「ファイトォオォ」「いっぱぁあつ！」と叫んじゃうチープさも、この作者さんならではの親しみやすさで、さくさく異世界体験ができます。 職業と人生を考えるよすがになる……かも。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
unknowoman ☆☆☆☆	田舎に移住するのは大変そう。認めてもらうための努力も大切なのね。 住むところって、人を変えることができるんだなあと感じた。			
	すべて	290P (120分)	すべて	2010/08/13 11:28:49
RKJK ☆☆☆	さらりと読める読みやすい本。 少し排他的でも優しい田舎のお話 pokothin抱きしめてファイト一発のインパクトは絶大			
	1-290	290P (200分)		2010/07/22 18:24:26
富士駿河 ☆☆☆☆☆	スケールがすごい。神去村の森林も、人々も、祭も。 最初の部分は読みやすかったが、最後の「祭」は迫力とスリルで想像力が追いつかなかった。本当に48年ごとにこんな危険な仕事をしているのか？ 「なあなあ」の気持ちと林業の力強さが、きれいに、自然に織り込まれている感じ。やっぱり、自然は人を大きくすると思う。			
	全部	290P (160分)	6-59ページ	2010/07/16 16:59:10
	いいなあ！大自然！！！ 高校の卒業式に訳も分からず家を追い出されてド田舎へ。 そのまま林業をやることに！ 俺どーなっちゃうの！？ 的なノリで、神去村での１年間。			

くらげ ☆☆☆☆☆	初めは本気で脱走しようとしていた主人公が、最後には「このまま神去村にいると思う」とまで語るのが、気持ちよくて好き。 本当に高校生が書いたみたいな、ゆる〜い文体で書かれているし、読んでる最中はノンフィクションかと思ってた。騙された！笑 「なあなあ」も造語だったとは…。「なあなあ」は実在してほしかったよ〜。 「最低冊数に届くか不安になってきましたが、なあなあ行こうと思います」 みたいな。 大自然×林業新米奮闘記 （ただしフィクション）			
	1-152, 214-290	229P (150分)	135-138	2010/07/02 00:35:20

asce ☆☆☆	「なあなあ」は急がば回れの意味で使える。 研究、就活、レポートそして20冊の乱読と迫られる日々、こんなときこそ「なあなあ」だ。 ＞江戸川 ＞値段とページ数が逆になってるっぽいですネー ＞Unknown ＞※上のページ数1500ページって間違ってない？ どこのこといってるの、わかりません。			
	6-119	114P (100分)		2010/06/29 12:15:12

ぼくらのコブラ ☆☆☆☆	林業ってなにするん？が最初の気持ちでした でも森を守るとかそんな大それたことじゃなくて、ただ自然の中に人間も一緒に住む、それだけのことなんだなって思いました なあなあ、そんな急いでどこ行くねん？ 『なあなあ』でいこうや そんな気持ちになります			
	全部	290P (240分)	神隠し	2010/06/16 22:54:21

ありす ☆☆☆☆	木と生きる人々、そこに放り込まれた都会育ちの主人公が織りなす「なあなあ」な毎日。 林業について小難しく書いてあるわけじゃないのに、その大変さがしみじみわかる。心にすとん、って落ちてくる。 何か大切なものが、そこにあるよ。			
	ぜんぶ	290P (80分)		2010/06/09 10:15:28

江戸川 ☆☆☆☆	衰退の一途を辿る日本の林業…のお話ではなく、 悲壮さは全く感じさせない明るいノリと元気いっぱいな登場人物によるストーリー！ こんな感じで感嘆符がついてしまうような楽しさに溢れた一冊です。 帯で宮崎駿がアニメ化したらなんて迷っているけど、ジブリで作ればいいのに。 （値段とページ数が逆になってるっぽいですネー）			
	全部	290P (120分)	四章	2010/05/28 16:37:20

Unknown ☆☆☆☆	DASH村を思い出したのは、自分だけじゃないはず・・・ 田舎っていいなぁと思える作品。天地明察を読んだ後でなければ、確実に五つ星をつけていたと思う。 猫を抱いて象と泳ぐ、天地明察、神去なあなあ日常と本屋大賞ノミネート作品を読んできたが、1つ目を「静」、2つ目3つ目を「動」の作品と表現するなら、やっぱり自分は「動」の作品の方が好きなんだとあらためて感じた。（これは、中学のときに熱中した、宗田理の「ぼくらシリーズ」の影響が大きいと思う。）			

	※上のページ数1500ページって間違ってない？			
	全部	290P (120分)		2010/05/28 10:23:21

komu ☆☆☆☆☆	読んでて田舎に帰りたくなる作品。非常に読みやすくスラスラ進める。1章だけでも読んでみれば良さがわかると思うので、迷ってる方はぜひ読んでみるべき。			
	4-191	188P (130分)	1章	2010/05/25 11:51:39

ボム ☆☆☆	なんだか読んでて頭の中に映像が浮かんでくる作品です！！出てくる人々をキャスティングしたくなるような、映画化したいような作品ですわ！			
	4-59	55P (30分)		2010/05/18 13:09:21

chocolate ☆☆☆☆☆	高校を卒業していきなり山奥に放り込まれた青年がどんどん成長して、たくましい男になっていくストーリー。 続きが気になって一気に読んじゃいました。 あんまり書くとつまらないの言いません。 でもそのうち続編も出そうな気がするなー。			
	1-290	290P (120分)	192-277	2010/05/17 00:30:49

TOPへ

死神の精度

著者名	伊坂幸太郎	発行年	2008年
出版社名	文春文庫	ページ数	345ページ
値段	524円	ISBN	978-4167745011
コメント	小説の濫読って、なかなかにムズかしいけれど、こんな短編集ならイケますね。 音楽好きで仕事はほどほど、基本冷たく醒めてるけれど、何かのはずみにほんのりあったかくなるサラリーマン死神さんのキャラクターがすてきです。ほおら、あなたのうしろにも……（お約束）		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ぼるてぃー ☆☆☆☆	初の伊坂ワールドでしたが楽しめました、なぜ人気なのか分かります。きちんと落ちがあるし、死神というキャラクターをうまく生かしている点ではデス・ノートもそうだったなと思いました。			
	すべて	345P (129分)	９－４７ ２８７－３３７	2010/08/19 04:56:47
くらげ ☆☆☆☆	思わず買ってしまいました。文庫版で。なので立ち読みポイントがページ数で表わせなくてすみません。 この本の面白さは主人公の千葉さんの、少しずれたクールっぷりに尽きるんじゃないかと思いました。 死神といっても大鎌を振りまわしているわけではなく、「仕事」「部署」「同僚」と、まるで普通の会社の調査部に所属している感じです。 感情が欠落しているわけではないのですが、人間や生死に対してとことん無関心がゆえに、少々ずれた発言を繰り返すところが面白いと思いました。			
	all	345P (250分)	死神と恋愛の最後←切なくなります…	2010/08/18 22:53:18
鍋工房 ☆☆☆	章ごとに時間軸が異なるが、死神という存在を利用して統一した(そして達観した)視点から描写することにより、物語に暖かさが生じているような気がする。そのへんの技巧に「上手いなぁ」と唸ってしまった。			
	all	345P (200分)		2010/08/18 04:49:10
hk ☆☆☆	様々な人の人生の一部をかいま見ることができた。 伊坂さん独特の話の進み具合と、絡め方が面白く読みやすい本であった。			

	全て	345P (180分)		2010/08/16 16:12:47

wax ☆☆☆☆☆	死神のお話。 だいぶ昔に読んだので内容を忘れてしまいましたが、 床屋のお話(?)とかが好きでした。 タイトルの「死神の精度」というのが絶妙だと思います。 このタイトルとブックデザインに惹かれて 気づいたら購入していました。			
	全部	345P (180分)		2010/08/10 10:52:38

Apollo ☆☆☆☆☆	神から目線です。 人間の人生、欲望、果ては生死まで興味レベルで語ってくれます。 まあ、人間とは生きる時間軸が違うのでそっちの方が自然なのかもしれないですね。その視点で書ききる作者はすごいと思うけど。			
	all	345P (180分)		2010/07/20 15:03:25

ぼくらのコブラ ☆☆☆☆	ぱらぱら読めちゃいました。 さすが伊坂さん。ばらばらだと思って読んでいましたが、最後にニヤリ。			
	おーる	337P (240分)	かこいいおばあちゃん	2010/07/13 16:13:41

yuigawa ☆☆☆☆	さくっと読める短編集だけど、よくよく見ると人物たちは死と感情の輪でゆるやかに結ばれているので、一冊読み終わると不思議な充足感があった。主人公の死神は、現れる度に人間に認知される姿かたちが違うのだけど、中身が一定しているので混乱することなくこっちの認識に溶け込む。ユニークな作品だった。			
	345	345P (45分)	9-47	2010/07/13 11:28:37

海老ちゃん ☆☆☆	お洒落な読み物です。会話がシニカルで知的・・・好きな人はたまらないかも。 ただ僕は、死神の全知全能っプリやクールなところが好きになれません。これはこれでカッコいいのかもしれませんが。 「天使は図書館に集まる」というシーンがある映画とは、ヴィム・ヴェンダースの『ベルリン・天使の詩』だと思います。やっぱり読書も良いけど、映画も良いですよね。			
	9-92	84P (60分)	裏表紙	2010/07/05 01:25:29

どかべん太郎 ☆☆☆☆	面白くてサクサク読めました。 死神目線での客観的な人間の見方が面白い。 バラバラだった話が最後に繋がるところもなんか嬉しい。 この死神に出会えれば最悪な死は迎えなくて済みそうだな…。			
	9-337	329P (120分)		2010/06/03 17:31:51

布団が敷いてある ☆☆☆☆	ひょうひょうとしている死神がとても面白い，サクサク読めるので簡単に読み終えられます. 最後の話で物語がつながってるのがわかったときニヤリとしてしまいました.			
	すべて	345P (120分)		2010/05/26 21:50:17

Unknown ☆☆☆	確かに短編集のような感じなのだが、実は最後につながっている。 なので、できれば全部読んでほしい。 死をテーマにしているにもかかわらず、重い話ではなく、どことなく人間らしさを感じられる作品。			

	全部	345P (120分)		2010/05/25 21:23:32

WHISKYMAN ☆☆☆	「喜び」や「同情」、「恐れ」のような人が持っているような感情をもたず、淡々と仕事をこなすだけかと思いきや、ミュージックが大好きという人間のような一面ももつ死神に魅了された。 死神が人参を頬張る場面で笑ってしまった。 電話番号から住所を特定する方法がわかった。 人間の活動を客観的にみると確かにこんな感じなのかもなーと思った。			
	全部	345P (200分)		2010/05/23 01:33:08

たざわ ☆☆☆☆	短編集なので、全部読む気はなかったのですが、あまりのおもしろさに全部読んでしまいました。 全部読むと、千葉さんの時間の流れというものがあり、どこかしら話はつながっていたりして、読むのをやめられなくなります。			
	全部	345P (90分)		2010/05/17 16:59:34

江戸川 ☆☆☆☆	「これは」「やばいくらいに」「うますぎる」 笑える箇所の表現だが、この小説そのものを表せる表現でもあると思う。 広がりに広がった話が最後にまとまっていく様がすごく快感。 しかし「うますぎる」故に５つ星には至れない印象。 いや、どこを切り取ってもすごく面白いんだけどなぁ。			
	全部	345P (180分)	261-262	2010/05/17 10:23:41

弟子 ☆☆☆	――リン。 鈴の音が鳴ら…なかった。それに林檎でなくとも食事を取る。語尾に「ガミ」とか付かない。 伊坂幸太郎らしい、フィクションとリアルの間の物語を「死神」というガジェットをうまく利用して表現している作品。死神の視点から物語全体を客観的に俯瞰することで、読者しか知らない情報をちょこちょこと提示していく表現はミステリと言うよりはむしろホラーの文法に近い気がしたが、それでもホラーには感じなかったのはひとえに主人公が「死神」だからであろう。主人公が崩れることがない安心感の中で読むからこそ、死神の冷静さを皮肉として捉えることができるのではないだろうか。もちろん、それを裏返されたら驚くのであろう。 ↓「オリエント急行殺人事件」は、分かる人にはネタバレにあたるのでは？			
	9-150	142P (40分)	第3章	2010/05/14 18:01:09

sky ☆☆☆☆☆	この本の面白さは「短編小説」であることと「主人公が死神」であることだと思う。 全６話構成なのだが、どの話も共通して主人公は死神の千葉さん。彼のキャラクターが実にユニーク。死神視点の人間に対する疑問、皮肉が特徴的なセリフ回しでちりばめられている。またこの死神はどうにも比喩表現に疎く、予想外の彼のつっこみに思わずニヤリとさせられる。これらは彼が死神だから許されるキャラクターであり、一見冷めた性格の中にこどもっぽさに似たものを感じさせ、憎めない存在となっている。 基本的にどの話も一話完結となっており、話の切れ方は主人公の死神にとって切りが良いとことなっている。なので他の登場人物がこの先どうなったのか、色々と思いを巡らすことができるのも個人的に楽しめた。（特に四話目「恋愛で死神」は色々考えて良かったと、全部読み終わってから思った。） また、短編小説の特性を生かして、主人公が死神だからこそできる話のクロス、特に最終話で楽しめた。なのでこの本を濫読するなら、一話目と二～五話目のどれかを読むことをお勧めしたい。最終話は全部読んだからこそ感慨深い物語となっているので、最終話を読むなら全部読むべし。 最後に、あまり関係ないかもしれないが、三話目「吹雪に死神」を読む前に「オリエント急行殺人事件」を読んでおくとちょっと楽しめるかも。 【追記】 オリエント急行殺人事件は別にネタばれにはならないと思う。そもそも本文の結構序盤にタイトル名は出てくるし。その時に「オリエント急行殺人事件って何だろ？」と思ったらもったいないなぁ、と感じたからです。それに…			

	と続けようと思ったがそのコメントは間違いなくネタばれになるので割愛。			
	全部	345P (240分)	一話目「死神の精度」	2010/05/14 16:48:25

atom ☆☆☆☆	映画も見たが、やはり小説の方が面白い！ 千葉のキャラが好きだった！ 伊坂さんには珍しく結構本格的な短編集と言うことなので 他の小説とは違って他の物語とリンクがあまりしていないのがちょっと残念だった。 ただつまみ読みする分にはおすすめ。			
	全部	345P (120分)		2010/05/13 07:07:22

TOPへ

ゴールデンスランバー

著者名	伊坂幸太郎	発行年	2007年
出版社名	新潮社	ページ数	503ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4104596034
コメント	花丸付き「たいへんよくできました」な、ひたすら逃げる物語。人はひとりだけれど、ひとりじゃない。世界はとてつもなく不条理で、自分という小さな存在を容赦なく押し潰しにくるけれど、過ごしてきた日々に関わりを持った人たちが、どこかで自分を応援してくれていて、さりげなく助けてもくれる。 逃げて逃げて逃げて逃げて、よれよれへとへとになりながら、ふっと心が軽くなる、そんな体験をしました。 ――人間の最大の武器は習慣と信頼だ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
くらげ ☆☆☆☆☆	こういうのもミステリーっていうのか…？ 真犯人が現れるわけでもなく、ひたすら逃走するお話。 第一部から第三部が一般大衆から見た、事件とその後。 第四部から第五部が本題の逃走劇。濡れ衣を着せられた容疑者から見た事件。 時系列が行ったり来たりしがちで一見関係ないエピソードも混ざっていますが、最後になって伏線として全て回収していきます。（個人的に好きな伏線回収は立ち読みポイントまで） 伊坂さんの作品は、時系列がバラバラにしてある作品が多いですし、伏線回収が綺麗なのもキャラが魅力的なのも、この作品に限ったことじゃないと思うんです。 時系列をバラバラにして最後にあっと言わせるタイプの作品だったら、ラッシュライフの方が面白かったな…と思ってしまいました。 期待して読んだだけに思ったほどでは？ってことで、☆４つのつもりでいたのですが、atomさんの「ヒューマンドラマというかメッセージ性というか、そっち目線で読んでいくと面白いと思った。」という感想にとても納得したので、☆５つに昇格しました。 信頼される自分でありたいです。			
	all	503P (300分)	497, 501	2010/08/18 21:37:41
wax ☆☆☆☆☆	魔王の続きのゴールデンスランバー。 国家権力から逃亡する一人の男のお話、 なんて書くと重い話に聞こえてきそうですが、 どことなく全体的にさわやかでゆるいです。 そこが読みやすい理由かもしれません。			

	6-501ページ	496P (120分)	特になし	2010/08/10 10:36:14

栃木のイベンター ☆☆☆☆	1人1人の登場人物の個性がはっきりしていてわかりやすいし，話の展開がスピーディーだったのでさくっと読め評判どおりのおもしろさだった．でも他の伊坂作品同様オチが微妙かなとは思った．			
	全部	503P (240分)		2010/08/04 18:15:53

1412 ☆☆☆☆☆	現在の事件と過去の学生生活が対照的でより悲惨に感じられた。途中でやめようと思ったが最後まで読んでよかった。			
	1-503	503P (240分)		2010/08/04 14:44:04

unknowoman ☆☆☆	ドラマと比較して申し訳ないが冒険ストーリー的なものを期待するとしたら、プリズン・ブレイクの方がおすすめ。ただ、逃げなきゃいけないながらもほっこりしてしまうのを期待するなら、こっちかも。 逃走のために花火をあげるなんて粋。国家とかそんなのに比べると、ちっぽけな人間であっても、数人集まれば力になれるのかなと思えた。			
	すべて	503P (240分)	すべて	2010/07/28 13:43:01

hk ☆☆☆☆☆	細かく張り巡らされた布石があり、読み進めていく度にそれがつながっていく素晴らしい本であった。 小説はあまり読まなかったが、これをきっかけに読みたいと思った。 今は会えなくても、いつかまたその人に会える。会えなくても、思っていてくれる人がいる。そう思われる人になり、そういった人がいてくれたらいいなと感じた。			
	全て	503P (360分)	450-480	2010/07/27 14:46:45

牛タン手工業 ☆☆☆☆☆	持つべきは信頼できる友だと実感しました。 僕が逃げていたら何人の人が花火をしかけてくれるだろうか。 そう考えると前の人もいってたけどミステリーというよりヒューマンドラマとかのほうが合うのかなって感じがします。 余談ですが、先に映画を見てしまっていたのでキャラクターのイメージが完全に出来上がってしまっていました。 やっぱり映画化される前に原作読むのが正解だなーと自分は思います。			
	全部	503P (210分)	472-485	2010/07/25 20:02:42

鍋工房 ☆☆☆	やっぱり信頼ってのは重要だよなあ。 二十何年も生きてると、信頼を得た経験も、それを失った経験もそれなりにあるわけで…色々と考えさせられます。 それにしても、容疑者＝犯罪者という図式はどうにかならないものか。ニュースでも、逮捕したという報道はよく見かけるのに、不起訴になった、無罪になったという報道はあまり見かけません(現状は起訴≒有罪なので無罪は殆どありませんが)。国家、マスコミ問わず、権力を持つということはそれだけで恐ろしいことなので、主人公父の言葉にもありましたが、覚悟を持って仕事をして欲しいですね。			
	all	503P (350分)		2010/07/10 22:14:07

maaa ☆☆☆☆	スピード感があって面白く、一気に読めた。 個人的には、オチが不満。物語上、ああいうオチになるのは仕方が無いとは思う。しかし、結局のところあの事件はどういうことだったのかと思ってしまう。			
	全部	503P (360分)	58-72	2010/06/24 17:08:28

ありす ☆☆☆☆	「逃げちゃダメだ」って某漫画の主人公が言う有名な台詞があるけど、実際逃げるしかないときってあるんじゃないかなあ。 逃げる、って言葉はネガティブなイメージを持たれやすいのかもしれない。でも巨大な力の前ではちっちゃな人間なんて逃げようとするだけでも大変なことだよ。でもそんなちっぽけな人間だけど、そっと手を差し伸べてくれる人がいるから、毎日がんばろうって思えるんだよね。 人と人とのかかわりって大切にしなきゃ。こんな不条理は起こらないかもしれないけど、何が起こるか分からないもの。 「たいへんよくできました」、たったひとりからでも、そう言ってもらえるように。			
	ぜんぶ	503P (130分)		2010/06/09 10:07:25

7boys ☆☆☆☆	「個人的な生活と、世界、って完全に別物になってるよね。本当は繋がってるのに」 過剰とも思える監視の目、情報操作、社会の脆さ、抗えない力、そういったものに直面した時自分ならどうするか・・・ という社会情勢に関することを考えることもできます。 twitterやmixiによって世界と繋がってるような感覚を持てるが、実はそうではないのだろうな、と思います。 しかし、この小説を読み終わって思ったのは、 「信頼とは？」ということでした。 きっと私は人を信頼して生きていく。			
	all	503P (210分)		2010/05/18 13:15:49

atom ☆☆☆☆	この話は首相暗殺の濡れ衣ぬを着せられた男の逃走劇だが、このストーリー自体はよくあるものだ。このあらすじだけ聞けば、「真犯人」を捕まえて終わるのかなっと思うが、伊坂さん本人いわくそういった終わり方にはしないとのこと。 あまりミステリーを期待して読むとがっかりするかも。ヒューマンドラマというかメッセージ性というか、そっち目線で読んでいくと 面白いと思った。 なったしｗｗ			
	全部	503P (250分)		2010/05/13 07:11:37

ＴＯＰへ

百年の家

著者名	ロベルト・インノチェンティ	発行年	2010年
出版社名	講談社	ページ数	64ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4062830423
コメント	みつけてください、あなたの小さな物語。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Asagi ☆☆☆☆	バージニア・リー・バートン「ちいさいおうち」を連想する作品。 庇が増え、窓が替わるところまでわかる、細部にわたる書き込みがリアリティを感じさせます。 きっと10年、20年先に読み返したら全然違う読み方ができるんだろうなと。 贅沢をいえば、1656年から読みたかったところ。			
	ぜんぶ	64P (30分)		2010/08/16 06:24:34
栃木のイベンター ☆☆☆	英語版を読んだが，私の英語力ではいっぱいいっぱいだった．ただ時とともに変わっていく家，人，まわりの景色を見て言葉にできない哀愁を感じた．			
	全部	64P (20分)		2010/08/10 19:31:21
布団が敷いてある ☆☆☆☆	英語版→日本語版の順番で読むのを激しくお勧めします． 英語版の言葉には味があってすばらしいです． 日本語版は確認程度で，むしろ読まなくてもＯＫ！			
	すべて	64P (15分)	全部	2010/08/09 20:18:53
ポチ ☆☆☆☆☆	こういう、淡々とした話に弱いです。 1944年に戦争が終わっているということはイタリアのお話なのでしょうが、どこの国の話としても読めます。 家を主人公とした絵本としては「ちいさいおうち」がありますが、あちらが心があたたかくなる子供向けなら、こちらは胸がざわざわする大人向けでしょうか。 いつか私にも子供が生まれたら、両親の買ってくれた「ちいさいおうち」を譲って、「百年の家」を自分の本棚に入れようと思いました。			
	全部	64P (20分)	動物	2010/08/04 12:40:26

akilu ☆☆☆☆☆	長生きになんてなりたくないと思う。 見守ってきたものが老いたり亡くなったりいくのを、見届けていかなくてはならないから。 それが避けられないなら、 この一握りの土にすら存在する大地になったら、あらゆる生の行きつく先となって、 愛するものの死を見届けても哀しくなくなるかな？			
	all	64P (20分)	ぬこ	2010/08/02 16:23:17

みぃたん ☆☆☆☆	一枚一枚の絵がとても細かくてきれいです。 人々の表情や、動きがあって、前半は生きている人々の力強さが伝わってきました。 いつの間にか家が改築されていたり、かくれている子供を発見するのが楽しいです。 車や洋服なども時代とともにかわっていくので見てて飽きません。			
	全部	64P (30分)		2010/07/30 15:29:21

mnts ☆☆☆	家の様子が徐々に変わっていくのを間違い探しのように見比べるのが楽しい。 最後のページがいちばん明るいのにいちばん悲しい気持ちになった。			
	all	64P (15分)		2010/07/20 16:17:45

オレンジ ☆☆☆☆	扉の上の表示が1656年から1936年になったのはなぜなのだろう？ とか、色々と(良い意味で)疑問に思うところがありました。 別にこれといった特徴があるわけではないのに、ものすごく引き込まれました。			
	全て	64P (20分)		2010/07/13 12:49:54

ありす ☆☆☆☆	内容もそうですが、特に色使いがオトナのための絵本ってかんじです。 子ども向けのカラフルさやポップさがない分（「はらぺこあおむし」みたいな原色系）線の一本一本にまで目が行き渡ると言うか。 ふっと胸を掠める寂寥感があとを引きます。 ただ、邦訳版タイトル「百年の家」がいまいちしっくりこないなあ。何がいいかと言われたら難しいのですが。			
	ぜんぶ	64P (20分)	最初と最後。	2010/07/12 22:10:06

どかべん太郎 ☆☆☆	この家は情勢に合わせて様々な表情を持つ。 1967年の表情がさみしくてならない。			
	全部	64P (20分)		2010/07/08 16:54:10

海老ちゃん ☆☆☆☆	動物がかわいい・・・特にニャンコ。8回も登場してます。 表紙が1942年の大戦中なのは、 この家が一番輝いてた瞬間だったからかもしれませんね。			
	全て	64P (15分)	全て	2010/07/05 18:46:27

上場亮 ☆☆☆	同じ絵を見ても、見る人によって感じる事が違い、それぞれの感受性を確かめる一冊だと思う。			
	全部	64P (30分)	1944年のとこ	2010/06/29 13:14:16

	同じ場所なんだけど全然違った風景が広がっています。

c nd ☆☆☆☆	いろいろ考えながら見ると面白い。			
	1－64	64P (20分)		2010/06/28 13:04:38

あんのーーん ☆☆☆	家の歴史を見ていくという内容で、そんなテーマの時点ですでに興味を十分に惹かれました。 家は、人生や歴史を見守っていく。いい話だ。家にも愛着がわいてくる。 でも大切な歴史や思い出なども、最後は、金か・・・！			
	全部	64P (15分)	全部	2010/06/22 23:51:34

なかま ☆☆☆☆	原書と合わせて読めたのがすごく良かった。 原書と翻訳では受ける印象が結構異なる。 先に翻訳を読んだときは、1967年に亡くなった「母親」が1918年に夫を失った「妻」と同一人物だと理解するのに時間がかかった。。 でも、原書では、「from wife to widow」 で、夫を失ったというのが分かるし、1967年では「The widow's passing」で、その人が亡くなったことが自明。 やっぱり、原書で読めるのが一番良いですね。日本語は日本語で趣があっていいけど。 ・・・英語勉強しよっと。			
	全て	64P (20分)	全て味わって読んで欲しい	2010/06/21 15:52:30

たざわ ☆☆☆☆	本屋で全部立ち読みしました。 家が主人公で内容も淡々と進む感じがするので、子供のための絵本というより、大人向けな気がします。 最後のシーンは、人によって感じ方がわかれると思います。			
	全部	64P (20分)		2010/06/16 20:13:55

Coppet ☆☆☆☆	「千の風になって」という歌を思い出した。 百年の家の百年は人の生と一緒に歩んできていて、人がその生を終えると共になくなる。 家は人と共にあってこそ家なのだと感じた。			
	全部	64P (15分)		2010/06/15 11:26:57

あるみ ☆☆☆☆	いいですね。いいですよね。これだから絵本ってやつはね。 15分もかからず読めますけど、1時間でも2時間でも楽しめます。 文章も、ことばが洗練されてて綺麗。素敵な本でした！			
	all	64P (15分)		2010/06/15 11:26:31

忍者 ☆☆☆☆	表紙がすごい怖そうな絵本なので、どんな物語なのかと期待して読みました。 ページが進むごとに家に愛着がわいていって、 1996年では、思わず「うわぁ」とつぶやいてしまった。 家に感情移入できる機会はめったにないのでオススメ本です。			
	全部	64P (15分)		2010/05/28 16:52:40

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	長い歴史の中で色々な表情を見せながら、そこに住む人達を見守ってきた「家」。過去の住人達の記憶が刻み込まれた、その「家」の玉石達は最後どこに行ってしまったのだろう。 こんなに渋く「家」が語るとは… 原本も読んでみたい。			
	全部	64P (15分)	全部	2010/05/26 23:40:41

TOPへ

これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2010年
出版社名	早川書房	ページ数	380ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4152091314
コメント	これで打ち止め最終エントリーの90冊目は、旬な哲学書で。 破綻した銀行に公的補助は必要？ のような事例から、 ベンサムやらロールズやら、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。 哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするする登れてしまう、みたいな。 よって ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断する というつまみ食い法がおすすめです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みぃたん ☆☆☆☆☆	最初の５０ページ位を読むのに、すごく時間がかかりました。 哲学を、高校の倫理で習った時より突っ込んでわかりやすく、具体的な例とともに説明してくれるので、面白かったです。 リパタリアンと功利主義について、わかりやすく整理されていました。 後半の方の章も読んでみたいので、また図書館で借りて、続きを読もうと思います。			
	1-150	150P (360分)		2010/08/24 09:46:47
B4たかし ☆☆☆☆	タイトルの「正義」（Justice）をこんなにも分かりやすく分析してくれるとはありがたい。 全部読みたいけど時間がない。また買って読むとしよう。			
	9-66	58P (80分)		2010/08/19 05:20:10
かーたか ☆☆☆	ロールズ、アリストテレス、カント・・・ 聞いたことある名前とその理論。断片的には知っていたが、具体的な問題を考えるときにこういいうふうにそれを使うのかという一例を見せて頂いた。 時間があるときにちゃんと全部読みたい。			

	270-314	44P (60分)		2010/08/19 00:12:03

yuigawa ☆☆☆☆☆	読み下すのに時間がかかる。それくらい興味深いテーマを取り扱っている一冊だった。いずれ購入して、きちんと納得いくまで読みふけりたい。 個人的に邦題が秀逸だと思う。正義という言葉について、いろいろと考えさせられてしまう。授業における課題を通じても考えたことであるが私は今に至るまで未だにきちんと『自由』を至上とする考え方に馴染めない。私は本書においては古い正義の理論のスタート地点であるとされる美徳こそが何よりも大切だと思っている…のかも。でも、日本人の多くはそうではないだろうか。			
	100	100P (90分)		2010/08/13 05:13:40

1412 ☆☆☆☆☆	問題に対して答えを教えるではなく、考え方を教えるという内容だった。その問題には日常生活でも遭遇するようなジレンマもあるので、この本が役立つこともあるかもしれない。			
	1～７章	200P (400分)		2010/08/10 21:45:57

マカロニぺんぎん ☆☆☆☆☆	非常に面白かったです。授業で取り扱った部分以外も読みごたえがあり、そして考えさせる内容が多かったです。特に8章のアリストテレスの「奴隷制度擁護論」は読むことをお勧めしたいポイントです。			
	全部	345P (240分)	3章、8章	2010/08/06 00:06:55

Coppet ☆☆☆☆☆	これは興味深い！ 政治哲学に関する本を初めて読みましたが、このような考え方を持って世の中を見ると色々これまでとは違う決断ができそう。 まあ、著者の意見に全部賛成出来るというわけでもないですが、自分がどのような考えをもって政治を見据えるかを探るヒントになるかと思います。 日本の政治家でこのような哲学を理解して活用している人はどれだけいるのかが気になるところです。 因みに、iTunesUで実際の講義（英語）を短縮したものが見られます。 第一回を見た限り、実際の講義なので学生の討論を中心としており、本よりも直感的に分かりやすいかもしれません。			
	全部	348P (400分)	最初から	2010/07/13 13:07:43

sky ☆☆☆☆☆	色々な立場の人がいるのだから意見が対立することは至極当然のことである。しかし当然のことだからと言ってそこから生じる問題に向き合わないわけにはいかない。重要なことはあらゆる意見に対しても主軸となる根本を理解することにあるのではないか。 この本は具体的な事例に対して、哲学者や歴代の大統領たちの主張を引き合いに出し、彼らがどの立場に立っていたのかを明確にし、問題の原因となる考えの違いを浮き彫りにしていく。自分の意見と比較していく上で、問題を整理しながら読み解くことができるので非常に考えながら読み進められる。ただ問題の捉え方がやはりアメリカ的であると感じてしまうかも。しかしそれがこの本の価値を下げる要因になるとは一切感じない。 答えの無い問題に対する本なので、ぜひ色々な人に読んで考えてもらいたい。本の評価と言うよりも、来年度も講義で使用してもらいたいという思いを込めての星五つです。 惜しむらくはこの本を全部読む時間がなかったこと。なぜ忙しかったこの週に借りたし。			
	１章、３章、１０章	92P (130分)	32-39	2010/07/06 13:02:53

	ああ面白かった！面白かった！！ 以上の二言に尽きます（大事なことなので二回言いました）。 正義ってなんだろう。自由って、道徳ってなんだろう。 色んな人が考えた論理の、あっちを突いてみたりこっちを切ってみたり。			

あるみ ☆☆☆☆☆	否応なしに、私も頭の中で納得したり反論したり。 終盤まで続く怒涛の論理展開に比べ、最終盤の結論（著者の意見）がちょっと弱いのが残念でしたが、それでも全体的にすごく面白かったです。 まだまだ理解できてない論理も多数。この本、買おうかなあ。			
	all	348P (400分)	32-43ページ	2010/07/06 12:53:05

TOPへ